MICROLINE 6300FB　ユーザーズマニュアル

セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

水平インサータプリンタ
MICROLINE 6300FB

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

はじめに

このたびは、沖データの MICROLINE 6300FB をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
このユーザーズマニュアルは、MICROLINE 6300FB の操作方法について述べたものです。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい使用方法をご理解いただきますようお願いいたします。

このユーザーズマニュアルは、必ず保管してください。万一、ご使用中にわからないことが起きたとき、きっとお役に立ちます。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

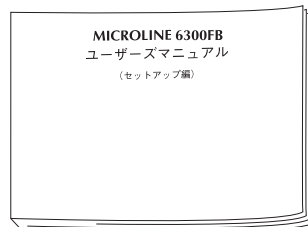
△記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。
△の中に具体的な警告内容が描かれています。
（左図の場合は、「感電注意」を表します。）

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、「分解禁止」を表します。）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、「アースを接続してください。」を表します。）

マニュアルの構成

本製品には、次の説明書（セットアップ編、応用編）が付属しています。

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアル（応用編）…プリンタソフトウェア CD-ROM 内

オプション品を用いた使用方法や便利な印刷方法を説明しています。
プリンタソフトウェア CD-ROM の内容をご覧ください。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品を廃棄する場合の注意

本製品を廃棄する場合は、関係国内法、および各地方の廃棄物処理基準に従って廃棄してください。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

各会社名，製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/P は、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
MICROLINE は株式会社沖データの商標です。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

プリンタに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。
2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。
3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   （1）本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
   （2）本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   （3）当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
   お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。
4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。
5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   （1）本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   （2）本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
   （3）第三者の権利を侵害していないこと。
   （4）特定の目的に適合していること。
   またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。
6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 6300FB → ML6300FB
- Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版 → Windows Vista
- Microsoft® Windows Server™ 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP ※
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

※特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003 と WindowsXP には 64bit 版も含みます。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の５つの構成になっています。

第1章〜第4章	ご使用上の注意、プリンタの設置からテスト印刷、ホストコンピュータとの接続について説明しています。プリンタの基本的な使い方がわかります。
第5章	使用可能な用紙と用紙のセット方法について説明します。
第6章	プリンタの設定項目について説明します。
第7章〜第8章	メンテナンス方法、困ったときの処置方法について説明します。
付録	ユーザサポートサービスとプリンタ仕様について説明します。

図の表記のしかた

印字可	「印字可」スイッチを押します。
機能切替 ＋ 印字可	「機能切替」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。

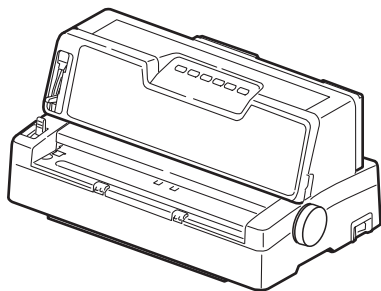
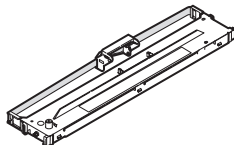
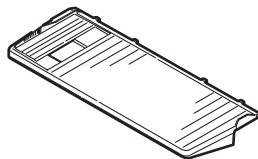
戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

目　次

1 プリンタを設置します

製品の確認

プリンタの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い求めの販売店にご連絡ください。

□ プリンタ

□ リボンカートリッジ

□ テーブル

□ 電源コード
□ 電源用プラグ
□ ユーザーズマニュアル
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□ プリンタソフトウェア CD-ROM

- 保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
  正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 梱包箱，梱包材は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。
- インタフェースケーブルは添付されておりません。お使いのコンピュータに合わせて別途購入してください。

設置の条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度 : 5 ～ 40 ° C
  周囲湿度 : 30 ～ 85%RH（相対湿度）
  （ただし、印刷精度保証条件は、15℃～ 30℃ , 40%～ 70% RH）
- 結露しないように注意してください。

設置に関する注意

⚠警告

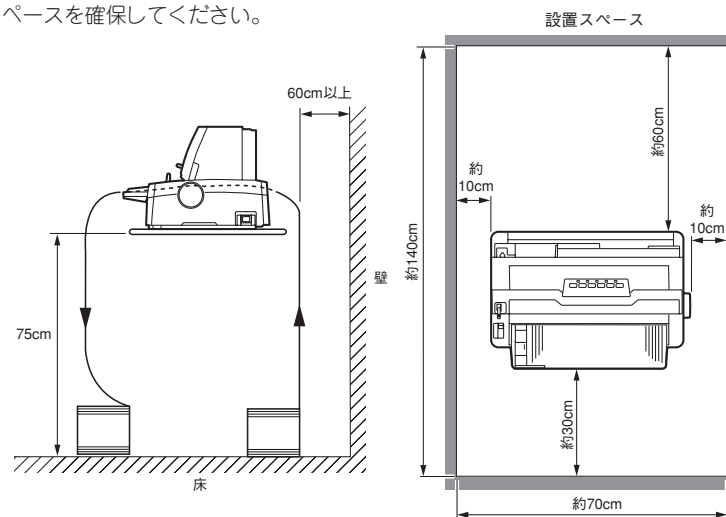
- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビの画面ゆれにつながりますので、モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。

条件

◎直射日光のあたる場所やヒータなどの熱器具の近くは避けてください。
◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。
◎急激な温度変化のある場所は避けてください。
◎じゅうたんを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。
◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。
◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。
◎強い電磁界 , 腐食性ガスの発生する場所は避けてください。
◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。

プリンタは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作 , 日常の点検および消耗品の交換など、プリンタの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。

◎プリンタの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。
◎プリンタを設置する台 , 机は、プリンタの振動で動く場合がありますので、キャスター付きのものは避けてください。
◎CRT の近くは避けてください。電磁界の影響により、画面に歪みが発生することがあります。

プリンタ各部の名前

〔前面〕

印字ヘッド
文字を印字する部分です。

用紙厚設定レバー
使用する用紙の厚さに合ったレンジ位置に合わせます。

アクセスカバー
リボンカートリッジを交換する際などに開閉します。

用紙切り替えレバー
使用する用紙に合わせて切り替えます。

操作パネル
プリンタの操作に必要なスイッチやランプがあります。

リボンカートリッジ
印字に必要なインクリボンが入っています。

シートガイド
単票の左端位置を決める支えです。
左右に移動し左端用紙位置を調整できます。

電源スイッチ

プラテンノブ
用紙を繰り出します。

テーブル
単票を手差しでセットする台です。

〔背面〕

USBコネクタ
USBコードを差し込むコネクタです。

パラレルインタフェースコネクタ
パラレルインタフェースコードを差し込むコネクタです。

ACコネクタ
電源コードを差し込むコネクタです。

リアカバー
連続紙をセットする際などに開閉します。

RS-232Cボードを差し込む部分です。
使用時は、インタフェースカバーを折り欠いて使用ください。

リアピントラクタ
連続紙をセットして紙送りする部分です。

付属品を取り付けます

1 固定具を取り除きます。

輸送時の振動などによる破損を防ぐため、印字ヘッドをストッパで固定してあります。ご使用になる前に、このストッパを外してください。

輸送時には印字ヘッドを左側に寄せてストッパで固定してください。取り外したストッパは、再輸送の際、必要となりますので、別に保管してください。取り付けは、取り外しと逆の手順で行ってください。

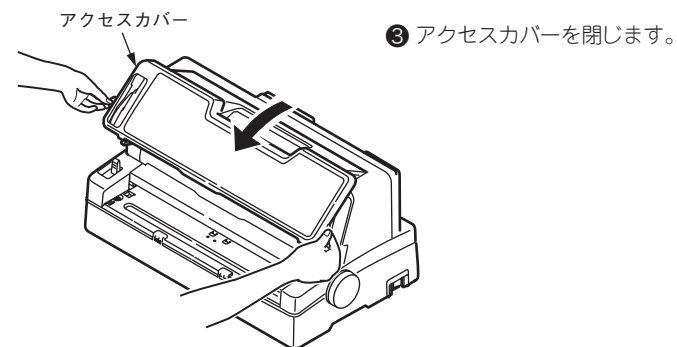
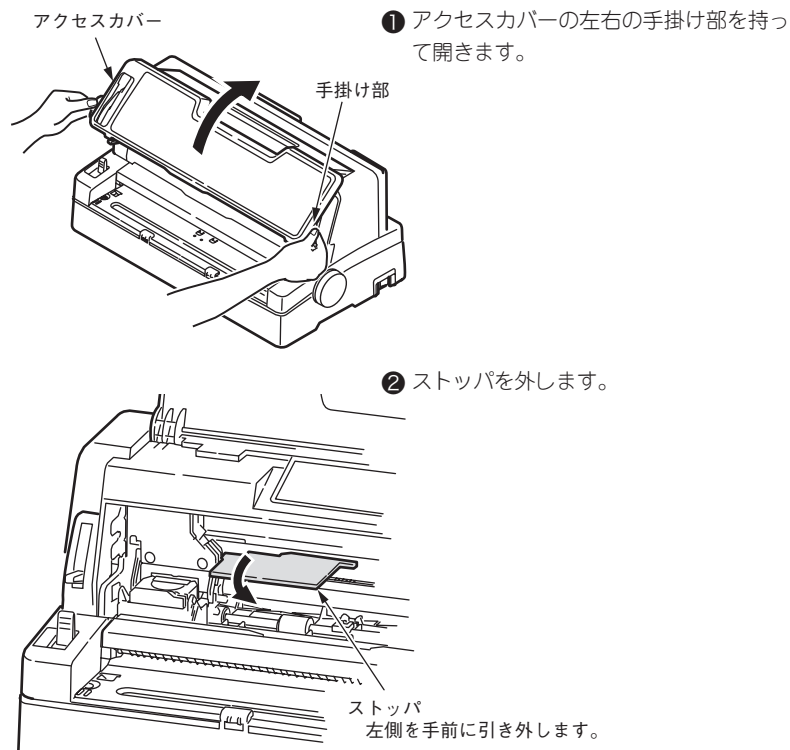
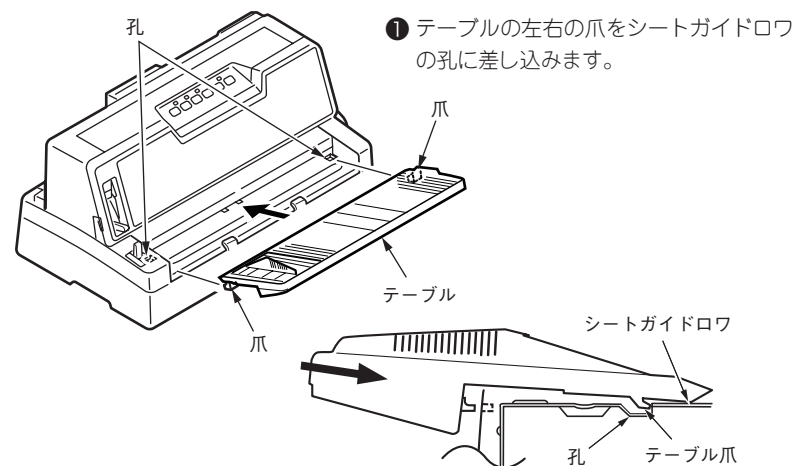
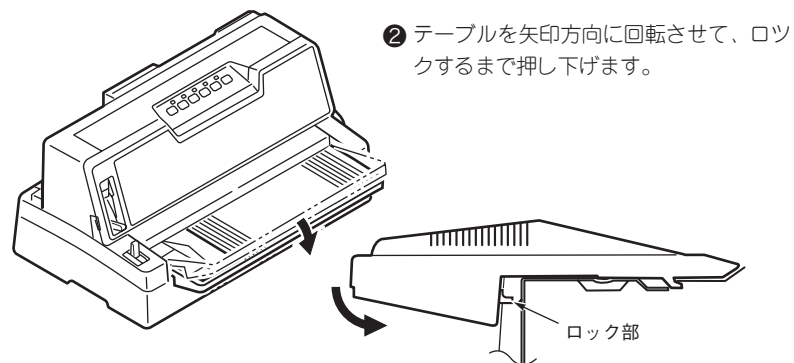
❶ アクセスカバーの左右の手掛け部を持って開きます。

❷ ストッパを外します。

❸ アクセスカバーを閉じます。

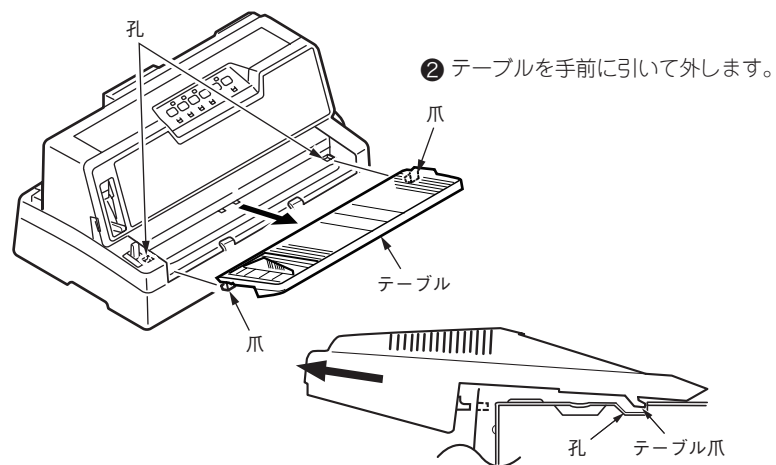
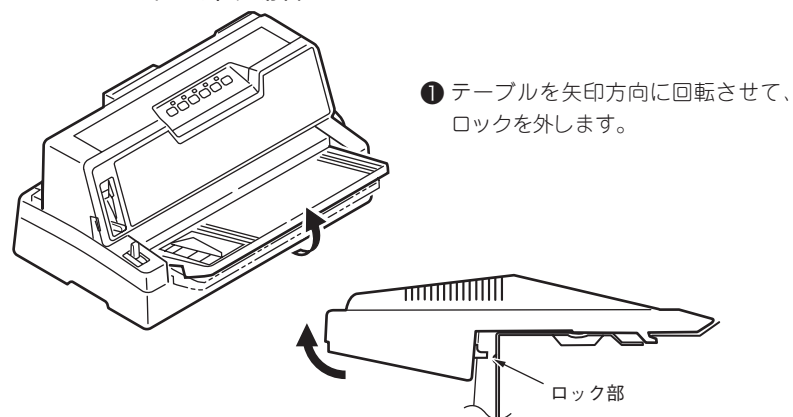
2 テーブルを取り付けます。

❶ テーブルの左右の爪をシートガイドロワの孔に差し込みます。

❷ テーブルを矢印方向に回転させて、ロックするまで押し下げます。

テーブルの左右の爪に無理な力を与えないでください。テーブル破損の原因となります。

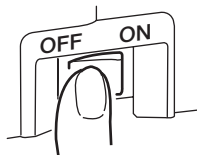
テーブルを取り外す場合

❶ テーブルを矢印方向に回転させて、ロックを外します。

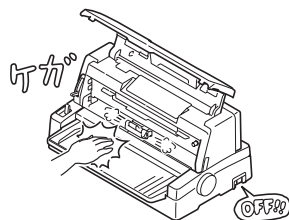
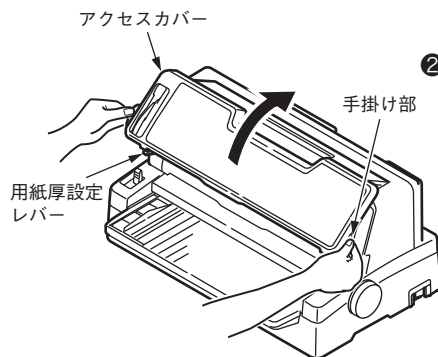
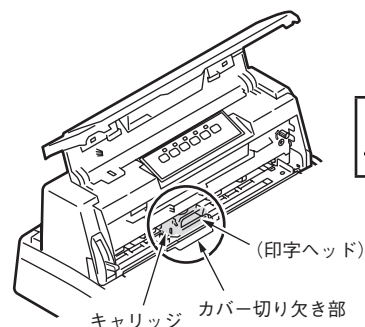
❷ テーブルを手前に引いて外します。

注
テーブルの左右の爪に無理な力を与えないでください。テーブル破損の原因となります。

3 リボンカートリッジを取り付けます。

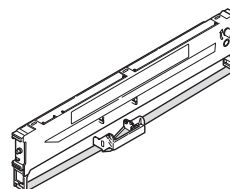
最初にリボンカートリッジを取り付けます。

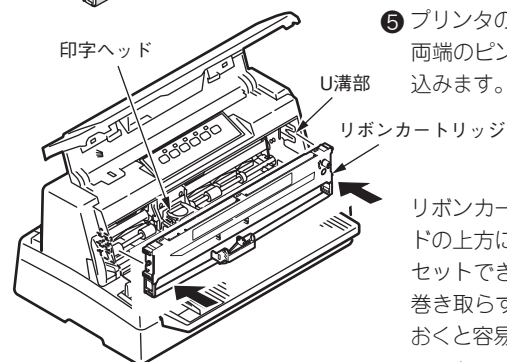
リボンカートリッジは必ず指定品を使用してください。（応用編）
指定外のものを使用した場合、故障の原因になります。

❶ 電源スイッチを「OFF」にします。

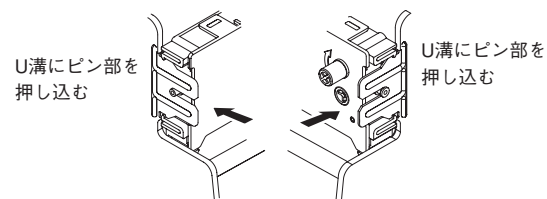
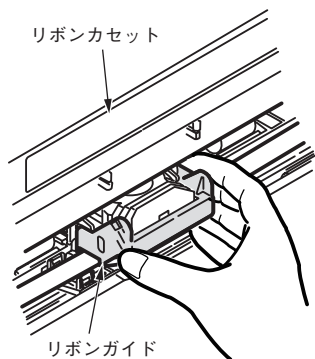
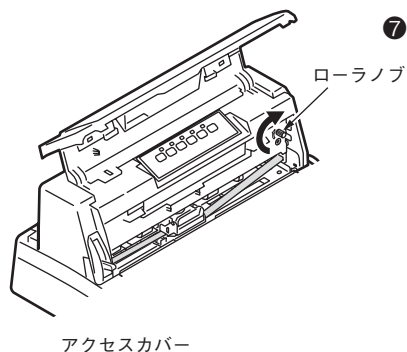
⚠注意	ケガをする恐れがあります。

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

❷ 用紙厚設定レバーを「リボン交換」（10 レンジ）にした後、アクセスカバーの右の手掛け部を持ってトップカバーを開きます。

注 「リボン交換」（10 レンジ）にしないと、印字ヘッドとリボンプロテクタの隙間にインクリボンを通した際、リボンのよじれや折れの原因となります。

❸ キャリッジをリボン交換位置のカバー切り欠き部へ移動させます。

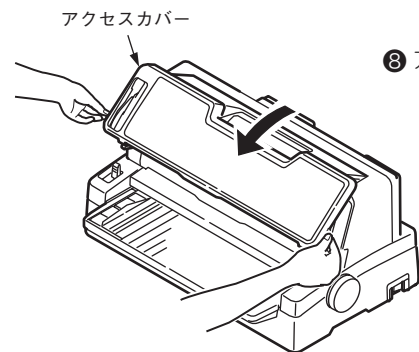
⚠注意	やけどの恐れがあります。

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドやその周辺にさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

❹ リボンカートリッジの包装紙を取り除きます。

印字ヘッド
U溝部
リボンカートリッジ

❺ プリンタの U 溝部にリボンカートリッジ両端のピン部を合わせて止まるまで押し込みます。

リボンカートリッジをリボンアームガイドの上方に突き当てて押し込むと容易にセットできます。また、インクリボンは巻き取らず、ややたるませた状態にしておくと容易にセットできます。

❻ リボンカセットについているリボンガイドを指でつまみ、キャリッジのヘッド構に設けられたＵ溝にリボンガイドのポストを合わせるように斜め上方よりガイドに沿って奥まで押し込みます。

❼ ローラノブを時計方向（矢印方向）に回してインクリボンのたるみを取ります。

注

- ローラノブを矢印の反対方向に回さないでください。
  リボンジャムの原因になります。
- 印字ヘッドとリボンプロテクタのすき間にインクリボンを通した際、よじれや折れがないことを確認してください。

❽ アクセスカバーを閉じます。

❾ 用紙厚設定レバーを元の位置に戻します。

電源を入れます

動作環境

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）：100V ± 10%
  電源周波数：50Hz または 60Hz ± 1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は約 220W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

電源に関する注意

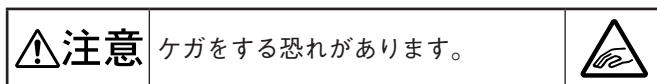
⚠警告

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。

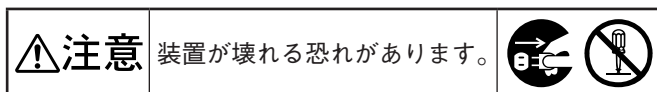
⚠警告

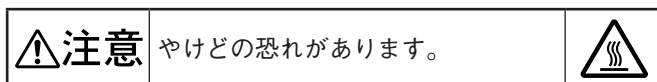
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 12A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- プリンタの電源スイッチを OFF にしてから再び ON するときには、5 秒以上待ってから ON してください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

◎ 電源は必ず AC100V（50Hz または 60Hz）を使用してください。
◎ オプションを取り付けるときは、電源を「OFF」してください。
◎ 電源コードの抜き差しは、必ず電源を「OFF」し、電源プラグを持って行ってください。
絶対に電源コードを引っ張らないでください。
◎ 雷が鳴っているときは電源を「OFF」し、電源プラグを抜いてください。
◎ プリンタとホストコンピュータを接続するときは、両方の電源を「OFF」してください。
◎ 長時間プリンタを使用しないときは、電源を「OFF」してください。

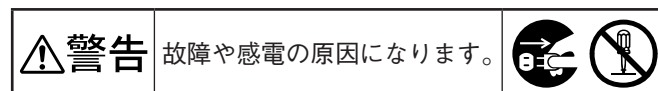
ご使用時の注意

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

⚠注意	装置が壊れる恐れがあります。	

プリンタ内部にクリップなどの異物を落とさないでください。
もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

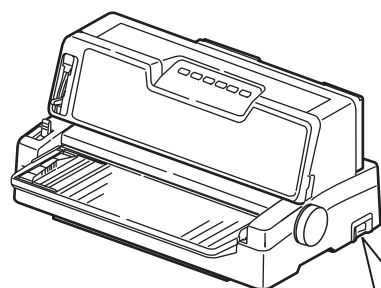
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

- 用紙やリボンカートリッジが無い状態では、絶対に印字させないでください。また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。印字ヘッドの寿命低下や、破損の原因になります。
- インクリボンとリボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- 印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。
- リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
  詳細は、「リボンカートリッジを取り付けます」(15 ページ)を参照してください。
- 用紙は、仕様に合ったものを使用してください。用紙詰まりや印字精度低下等の原因となります。詳細は、「用紙規格および印字範囲」(100 ページ)を参照してください。

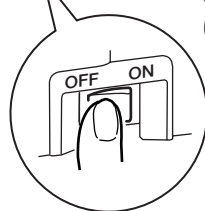
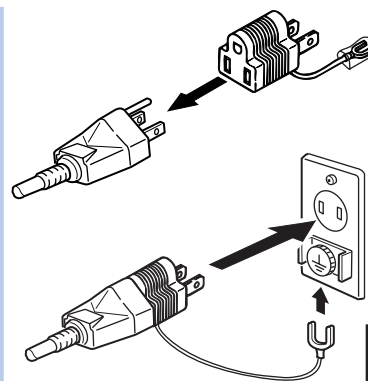
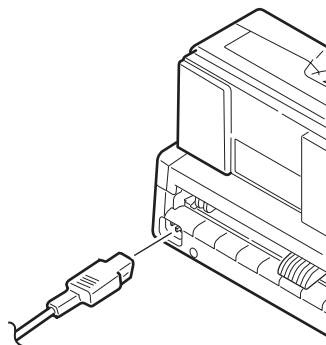
故障や異常のときは

⚠警告	故障や感電の原因になります。	

故障や異常(においがしたり、煙が出たり、熱くなった)に気付いたときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。

電源コードを取り付けます

電源コードとアース線を接続します。

❶ 電源スイッチが「OFF」(○側) になっていることを確認します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

プリンタが突然動作することがあります。
必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。

❷ 電源コードをプリンタの AC コネクタに接続します。

❸ 電源コードに電源用プラグを差し込みます。

コンセントが 3 極の場合は、電源用プラグは不要です。

❹ 電源プラグをコンセントに差し込み、アース線をアース端子に接続します。

⚠警告	感電の恐れがあります。	

万一の危険防止のため、アースは必ず接続してください。ガス管には絶対に接続しないでください。
電源プラグのアースが接続できない場合は、電気工事店へご相談ください。

- アース線をコンセントに一緒に差し込まないでください。
- 電源は必ず AC100V (50Hz または 60Hz) を使用してください。
- 電源を入れたとき、一瞬大きな電流が流れます。
  電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンタは、ドット密度の高い印字 (黒ベタ印字など) を行うと、最大 4A の電流が流れます。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。タコ足配線は、絶対しないでください。
- 電源コードは、添付されているものを使用してください。
- 電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」してから、電源プラグを持って行ってください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。

テスト印字をします

プリンタが正常に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置、または 10 インチ幅の連続紙を使用します。ここでは、A4 サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

❶ 電源スイッチを「OFF」にします。

❷ 用紙切り替えレバーを単票「 」にします。

❸ 用紙厚設定レバーを用紙厚に合ったレンジ位置に合わせます。(「用紙の厚さに応じた調整方法」を参照)

❹「改行」+「TOF セット」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」します。

❺ 単票をセットします。

単票の左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
単票のセット方法は、「単票をセットします」(118 ページ)を参照してください。

単票が自動的に吸入されます。

❻ プリンタが印字を開始します。

「印字可」スイッチを押して、印字を中断します。
もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

❼「印字可」スイッチを押して印字を中断して「改頁」スイッチを押すと単票を排出します。またはテスト印字が終了すると単票を排出します。

❽ 電源スイッチを「OFF」にします。

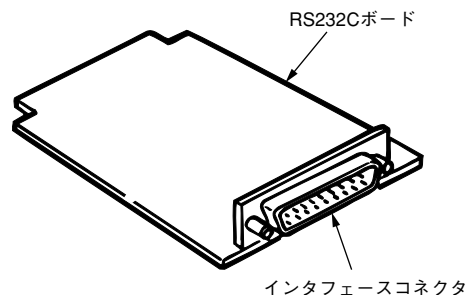
テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、「こんなときには」(応用編)を参照してください。

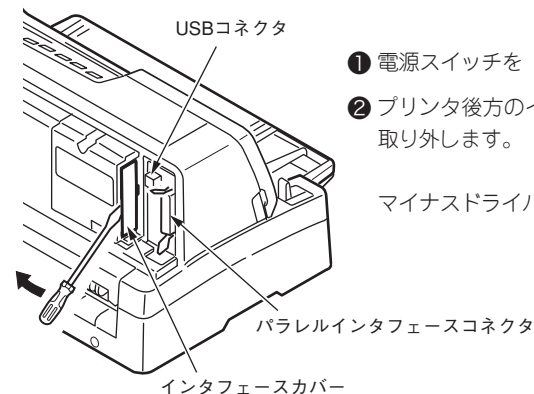
オプション品について

RS232C ボード

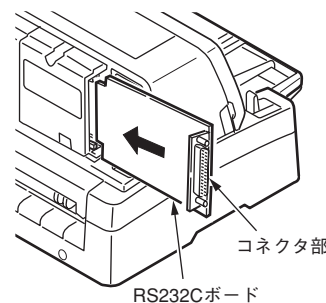
RS232C ボードを取り付けることにより、シリアルインタフェースでデータを受信することができます。
シリアルインタフェースの機能は、メニューにより設定することができます。
シリアルインタフェースのメニューについては、「シリアルインタフェースメニュー項目一覧」を参照してください。

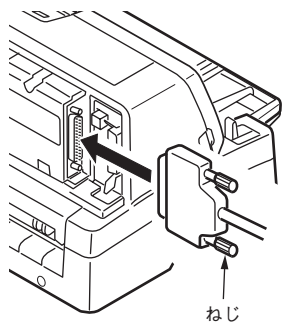
- シリアルインタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータとプリンタのコネクタに合ったものを販売店でお求めください。
- RS232C ボードは、静電気に非常に弱いため、注意して取り扱ってください。

外観と各部の名称

RS232C ボードの取り付け , 取り外しをします

RS232C ボードの取り付け , 取り外しは、必ずプリンタの電源を「OFF」にしてから行ってください。

❶ 電源スイッチを「OFF」にします。

❷ プリンタ後方のインタフェースカバーを取り外します。

マイナスドライバを使い、取り外します。

❸ RS232C ボードのコネクタ部を持ち、上部と下部のガイドに合わせて静かにしっかり押し込みます。

❹ 奥まで突きあたると、ロックピースで固定されます。

❺ インタフェースケーブルを接続し、ねじで固定します。

RS232C ボードの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

インタフェースケーブルを無理に引っ張らないでください。ボードが外れたり、コネクタが破損する恐れがあります。

2 操作パネルについて

操作パネルの使い方

ランプの表示機能

番　号	❼	❽	❾	❿	⓫
名称（ランプ色）	印字可（緑）	用紙　（赤）	高速　（緑）	高複写（緑）	電源　（緑）
機　能	点灯：オンライン(印字可) 消灯：オフライン(印字不可) 点滅：• 復旧不可能アラーム状態（「用紙」ランプと共に点滅） • 単票給紙待ち状態	点灯：ペーパエンド状態 消灯：給紙済み状態 点滅：• 用紙ジャムアラーム状態 • 復旧不可能アラーム状態(「印字可」ランプと共に点滅) • 用紙切り替えレバーアラーム状態 • サーマルアラーム状態	点灯：高速印字モード 消灯：通常印字モード 点滅：カットアップ状態	点灯：• 高複写印字モード • 用紙カット位置補正中 • 用紙頭出し位置補正中 消灯：通常印字モード 点滅：• 用紙カット位置の補正の限界状態時 • 用紙頭出し位置の補正の限界状態時	点灯：電源が入っている 消灯：電源が切れている 点滅：低消費電力モード中（他のランプは消灯）

スイッチの機能

番号	名 称	機　　能	番号	名 称	機　　能	番号	名 称	機　　能
❶	印字可	◆オンラインのとき • オフラインにします。 ◆オフラインのとき • オンラインにします。 • アラームを解除します。	❹	改頁 微少送り	◆オンラインのとき • 高速印字に設定します。 注 ・高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ、文字が薄く見えます。 ・プリンタドライバで高密度印字を指定して印刷を行うと、通常印字が設定されます。 ◆オフラインのとき • 連続紙モードのとき 次のページの 1 行目まで連続紙を送ります。 • 単票モードのとき 単票を排出します。	❷ + ❸	機能切替 + 改行 微少逆送り	◆オンラインのとき • 無効です。 ◆オフラインのとき • 用紙がセットされているときに、逆方向に微少送りを行います。 注 用紙の逆送り量は累計で 1/3 インチ以内にしてください。 メモ 微少逆送りのピッチは、1/180 インチです。 また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。
❷	機能切替	◆オンラインのとき • 連続紙モードのとき 連続紙を用紙カット位置まで送ります。再押下またはデータを受信すると元の位置に戻ります。 ◆オフラインのとき • このスイッチを押しながら「TOF セット」,「改頁」,「改行」,「ロード / 退避」の各スイッチを押すことにより、スイッチの機能を変えることができます。	❺	ロード/退避	◆オンラインのとき • 高複写印字に設定します。 ◆オフラインのとき • 連続紙モードのとき ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1 行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。 連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。 注 連続紙の後退量は、最大 22 インチです。22 インチ後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。 連続紙の後退動作は、絶対に 2 回以上連続で行わないでください。 • 単票モードのとき 単票が給紙されているときに押すと、用紙を排出します。	❷ + ❹	機能切替 + 改頁 微少送り	◆オンラインのとき • 無効です。 ◆オフラインのとき • 用紙がセットされているときに、順方向に微少送りを行います。 メモ 微少送りのピッチは、1/180 インチです。 また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。
❸	改行 微少逆送り	◆オンラインのとき • 通常印字に設定します。 注 プリンタドライバで高速印字を指定して印刷を行うと、高速印字が設定されます。 ◆オフラインのとき • 1 行改行します。押し続けると連続で改行します。	❻	TOFセット(一時) TOFセット(恒久)	◆オンラインのとき • 無効です。 ◆オフラインのとき • TOF セットを一時的に行います。電源を OFF したり、I-Prime を受信すると、デフォルト値に戻ります。	❷ + ❻	機能切替 + TOFセット(一時) TOFセット(恒久)	◆オンラインのとき • 無効です。 ◆オフラインのとき • TOF セットを恒久的に行います。

注 「スイッチ設定ユーティリティ」を使用してスイッチ機能に制限を行うと、スイッチを押下しても機能しません。
スイッチを押下しても正常に機能しない場合は「スイッチ設定ユーティリティ」で機能制限を行っていないかご確認ください。
「スイッチ設定ユーティリティ」のご使用方法につきましては、「1 章　Windows ソフトウェア」(応用編) を参照してください。

〈高複写印字について〉

- 1 枚目が厚く 2 枚目に複写できないような場合に高複写印字に設定してください。
- 高複写印字では 2 度打ちを行います。
- 高複写印字はギャップレンジ 2 以上にセットした場合に有効となります。
- 用紙の厚さは、「用紙規格および印字範囲」（100 ページ）を参照してください。
- リボン寿命は、約半分になります。
- 薄紙で横罫線印字をすると用紙が破れる場合がありますので、高複写印字にしないでください。
- インクリボンが新しいときに印字密度の高い文字やグラフィックを印字すると、汚れが発生する場合があります。

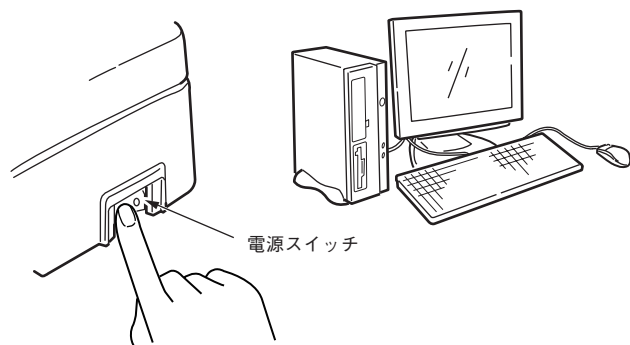
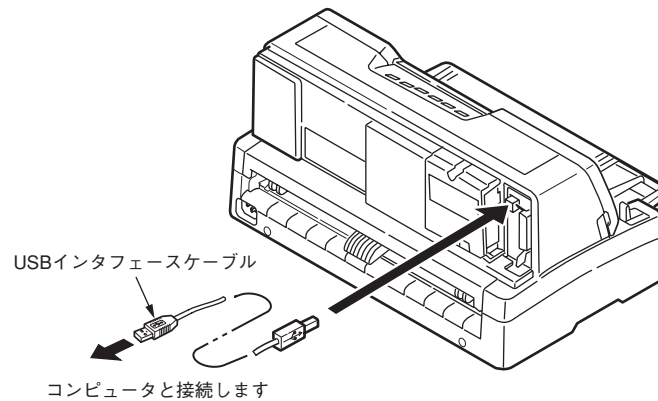
〈低消費電力モード中について〉

低消費電力モード中にいづれかのスイッチを押した場合には、低消費電力モードを解除します。このとき押したスイッチは、低消費電力モードの解除のみを行い、押したスイッチ本来の機能は働きません。

3 USB 接続で Windows にセットアップします

USB 接続でホストコンピュータに接続します

USB インタフェースケーブルは、長さ 5m 以下の USB2.0 仕様の規格適合ケーブルをお使いください。
USB インタフェースのケーブル詳細および信号線ピン配列は、「USB インタフェース仕様」（応用編）をご覧ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「OFF」にします。

2 USB インタフェースケーブルを接続します。

3 コンピュータに USB インタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

動作環境

プリンタの設定

印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化します」（146 ページ）を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows Vista の場合

Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

WindowsServer2003 の場合

WindowsServer2003/2003（x64版）日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

WindowsXP の場合

WindowsXP/XP（x64版）日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

Windows2000 の場合

Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

WindowsMe の場合

WindowsMe 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

Windows98 の場合

Windows98 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

※特に記載がない場合は、Windows Vista と WindowsServer 2003 と WindowsXP には 64bit 版も含みます。

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- Windows Vista/Server2003/XP/2000 の場合は、Administrator の権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。
- Windows95/NT4.0 では、USB インターフェースをサポートしておりませんので USB インターフェースケーブルでのご使用はできません。パラレルインターフェースケーブルにてご使用ください。
  インストール方法につきましては、4 章「パラレル接続で Windows にセットアップします」をご参照ください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタソフトウェア CD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

なお、説明の中では CD-ROM のドライブ名は D：を例にしています。

Windows Vista 環境で使用します

［インストーラを使用してセットアップを行います］

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ コンピュータの電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

❸ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹ しばらくすると、『自動再生』の画面が表示されますので、『Autorun.exe の実行』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❺『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されますので、『許可』をクリックします。

❻『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

❼ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❽『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❾『ポートの選択』の画面が表示したら、『USB』を選択し、『次へ』をクリックします。

❿『ケーブルの接続』の画面が表示したら、ステップ 1、ステップ 2 の指示に従います。
（ケーブルを接続する際には、パラレルインターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。）

⓫『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

［プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います］

・セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB インターフェースケーブルを接続します。

※ パラレルインターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ コンピュータ電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

❺『新しいハードウェアが見つかりました』の画面が表示されますので、『ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）』を選択します。

❻『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』ボタンをクリックします。

❼『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 6300FB のドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか』の画面が表示された場合は、『オンラインで検索しません』を選択します。

❽『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 6300FB に付属のディスクを挿入してください』の画面が表示されますので、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❾『下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください』の画面が表示されますので、『OKI MICROLINE 6300FB 1.0.0.0 OKI d:¥drivers¥vista¥…』を選択して『次へ』をクリックします。

※ 64bit 版をご使用の場合は、『OKI MICROLINE 6300FB 1.0.0.0 OKI d:¥drivers¥vista64¥…』を選択します。

❿『 このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました』の画面が表示され、インストールが終了します。『閉じる』ボタンをクリックします。

『新しいハードウェアが見つかりました』の画面が表示されない場合

⓫『スタート』-『コントロールパネル』-『システム』-『デバイスマネージャ』をクリックします。

⓬『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』ボタンをクリックします。

⓭『 ほかのデバイス』の『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 6300FB』をマウスの右ボタンでクリックして、『ドライバソフトウェアの更新』を選択します。

⓮『 どのような方法でドライバソフトウェアを更新しますか』の画面で、『コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します』をクリックします。

⓯『コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します』の画面が表示されますので、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。その後、テキストボックスに『D:¥Drivers¥Vista』と入力し、『次へ』をクリックします。

※ CD-ROM をセットした後、『自動再生』画面が表示されたら『×』をクリックして閉じてください。

※ 64bit 版をご使用の場合は、『D:¥Drivers¥Vista64』と入力します。

⓰『ドライバソフトウェアが正常に更新されました』の画面が表示され、インストールが終了します。『閉じる』ボタンをクリックします。

WindowsServer2003 環境で使用します

［インストーラを使用してセットアップを行います］

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ コンピュータの電源を ON にし、WindowsServer2003 を起動します。

❸ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❺ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❻『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❼『ポートの選択』の画面が表示したら、『USB』を選択し、『次へ』をクリックします。

❽『ケーブルの接続』の画面が表示したら、ステップ 1、ステップ 2 の指示に従います。
（ケーブルを接続する際には、パラレルインターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。）

❾『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

［プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。『プリンタと FAX』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ WindowsServer2003 を起動します。

すでに WindowsServer2003 が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示され、『ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？』と表示されますので、『いいえ、今回は接続しません』をチェックし、『次へ』をクリックします。

※ この画面は WindowsServer2003 の Service Pack 適用状況により、表示されない場合があります。

❹ 次に下画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする（詳細）』をチェックして、『次へ』をクリックします。

※ 下画面が表示されない場合は、USB インタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、❽へ進みます。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『次の場所を含める』のみをチェックして「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win2003」と入力し、『次へ』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

※ WindowsServer2003 x64 Editions をご使用の場合は、「D:¥Driver¥ML6300FB¥W2003x64」と入力します。

ファイルのコピーが開始されます。

❻『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で『完了』をクリックします。

❼『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

❽『スタート』―『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

❾『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。

❿『その他のデバイス』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 6300FB』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

⓫『その他のデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 6300FB』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

⓬『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

⓭『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

⓮ Windows を再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』開始画面から再セットアップします。

WindowsXP 環境で使用します

[インストーラを使用してセットアップを行います]

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ コンピュータの電源を ON にし、Windows XP を起動します。

❸ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❺ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❻『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❼『ポートの選択』の画面が表示したら、『USB』を選択し、『次へ』をクリックします。

❽『ケーブルの接続』の画面が表示したら、ステップ 1、ステップ 2 の指示に従います。
（ケーブルを接続する際には、パラレルインターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。）

❾『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。

『完了』ボタンをクリックします。

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。『プリンタと FAX』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ WindowsXP を起動します。

すでに WindowsXP が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示され、『ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？』と表示されますので、『いいえ、今回は接続しません』をチェックし、『次へ』をクリックします。

※ この画面は WindowsXP の Service Pack 適用状況により、表示されない場合があります。

❹ 次に下画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする（詳細）』をチェックして、『次へ』をクリックします。

※ 下画面が表示されない場合は、USB インタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、❽へ進みます。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『次の場所を含める』のみをチェックして「D:¥Driver¥ML6300FB¥WinXP」と入力し、『次へ』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

※ WindowsXP Professional x64 Edition をご使用の場合は、「D:¥Driver¥ML6300FB¥WinXPx64」と入力します。

ファイルのコピーが開始されます。

❻『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で『完了』をクリックします。

❼『プリンタと FAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

❽『スタート』―『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

❾『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。

❿『その他のデバイス』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 6300FB』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

⓫『その他のデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 6300FB』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

⓬『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

⓭『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

⓮ Windows を再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』開始画面から再セットアップします。

Windows2000 環境で使用します

［インストーラを使用してセットアップを行います］

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ コンピュータの電源を ON にし、Windows2000 を起動します。

❸ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❹『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❺ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❻『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❼『ポートの選択』の画面が表示したら、『USB』を選択し、『次へ』をクリックします。

❽『ケーブルの接続』の画面が表示したら、ステップ 1、ステップ 2 の指示に従います。
（ケーブルを接続する際には、パラレルインターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。）

❾『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

［プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

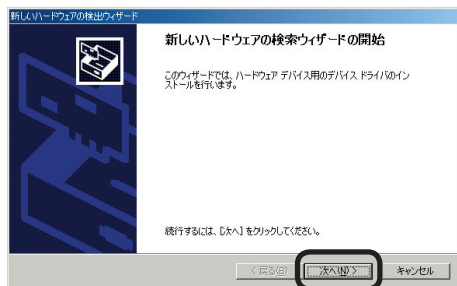
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ Windows2000 を起動します。

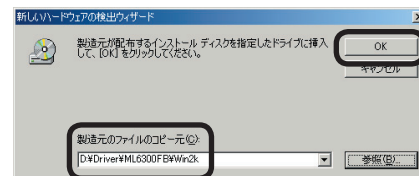
すでに Windows2000 が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『次へ』をクリックします。

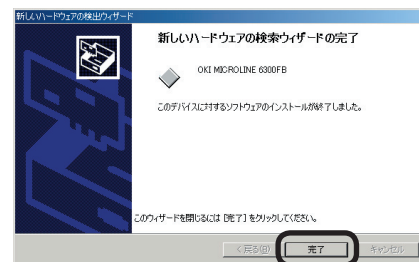
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合は、USB インタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、❿へ進みます。

❹『デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

❺『場所を指定』のみをチェックして、『次へ』をクリックします。

❻ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROMドライブへセットし、「製造元のファイルのコピー元 :」に「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win2K」と入力して、『OK』をクリックします。

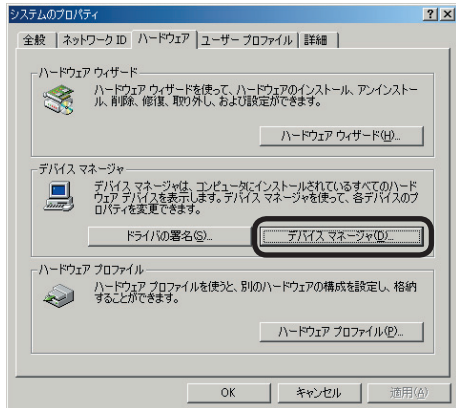
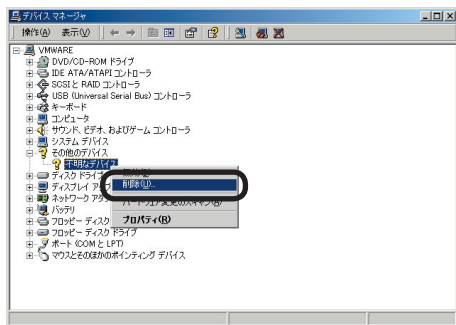
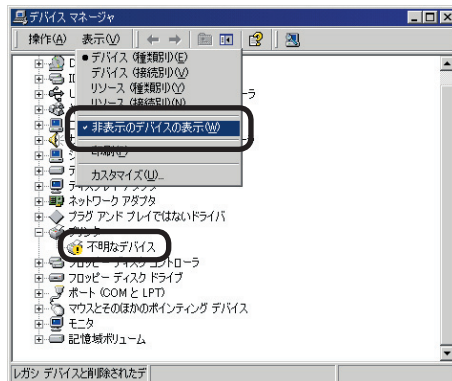
※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

❼『ドライバファイルの検索』画面で『次へ』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❽『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

❾『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

⑩『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

⑪『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。

⑫『 その他のデバイス』の『不明なデバイス』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

⑬『 その他のデバイス』に『不明なデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『不明なデバイス』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

⑭『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

⑮『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

⑯ Windows を再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面から再セットアップします。

WindowsMe 環境で使用します

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

- プリンタソフトウェア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。

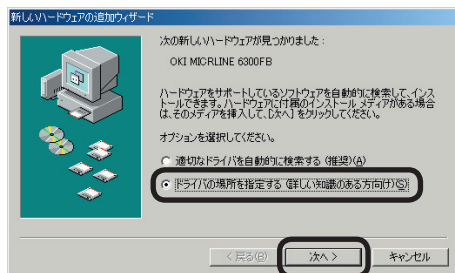
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ WindowsMe を起動します。

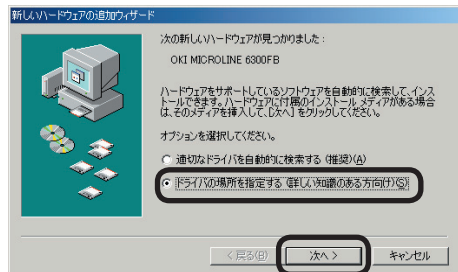
すでに WindowsMe が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して、『次へ』をクリックします。

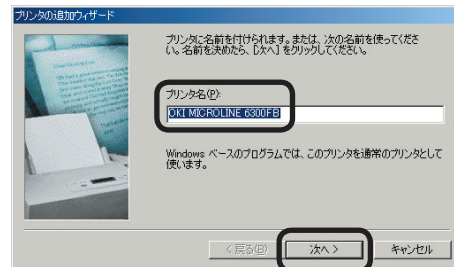
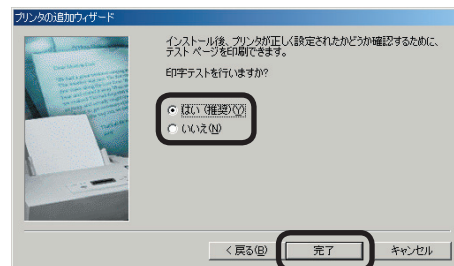
※『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合は,USB インタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、⓮へ進みます。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、「D:¥UsbDriver」と入力して、『次へ』をクリックします。

❺ USB ドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

❻『インストールが完了しました』で、『完了』をクリックします。

❼ 再度『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されるので、『ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)』を選択して、『次へ』をクリックします。

❽ プリンタソフトウェア CD-ROM が CD-ROM ドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、「D:¥Driver¥ML6300FB¥WinMe」と入力して、『次へ』をクリックします。

❾『デバイス用のドライバファイルの検索』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

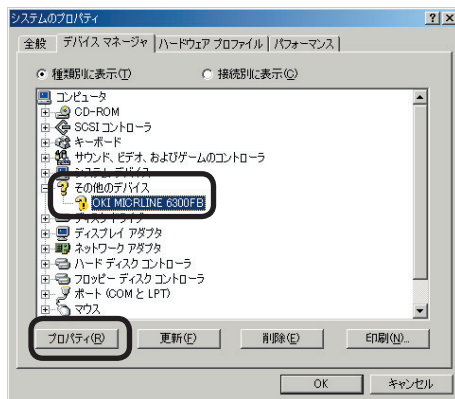
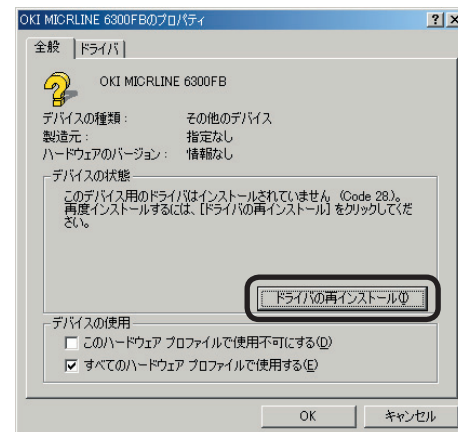
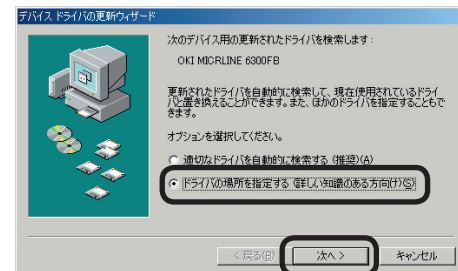
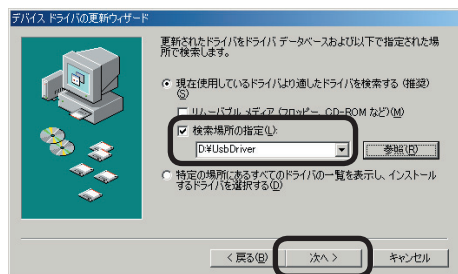
❿『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⓫ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

⓬『完了』をクリックします。

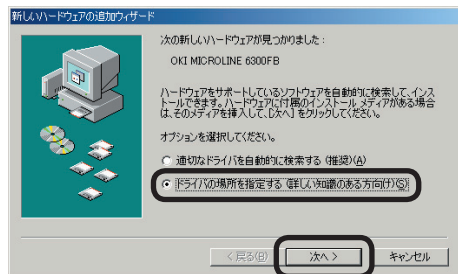
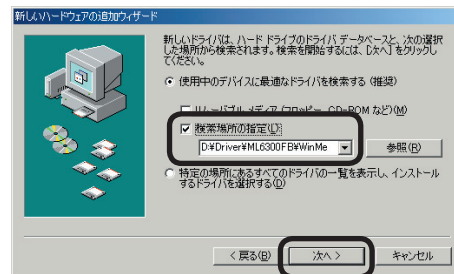
⑬『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合

⑭『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

⑮『デバイスマネージャ』タブを開きます。

⑯『 その他のデバイス』で『OKI MICROLINE 6300FB』を選択し、『プロパティ』をクリックします。

⑰『ドライバの再インストール』をクリックします。

⑱『デバイスドライバの更新ウィザード』画面が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択し、『次へ』をクリックします。

⑲ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥UsbDriver』と入力して、『次へ』をクリックします。

⑳ USB ドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

㉑『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択し、『次へ』をクリックします。

㉒ プリンタソフトウェア CD-ROM が CD-ROM ドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥ML6300FB¥WinMe』と入力して、『次へ』をクリックします。

㉓『デバイス用のドライバファイルの検索』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

㉔『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

㉕ テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

㉖『完了』をクリックします。

㉗ ドライバがインストールされたことを確認し、『完了』をクリックします。

㉘『Oki USB Driver のプロパティ』画面で『閉じる』をクリックします。

㉙『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

Windows98 環境で使用します

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

- プリンタソフトウェア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。

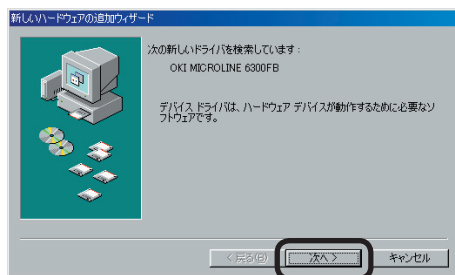
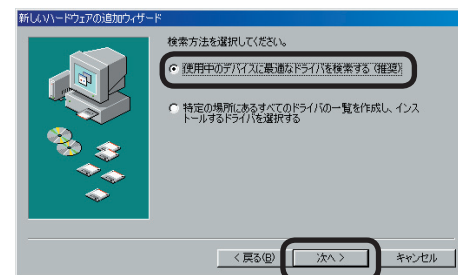
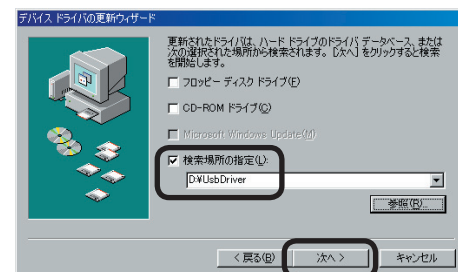
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ Windows98 を起動します。

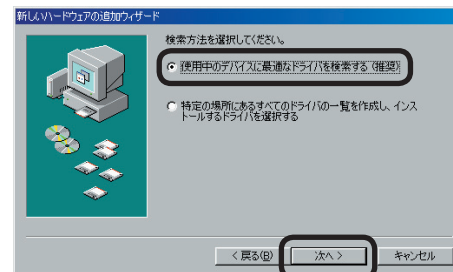
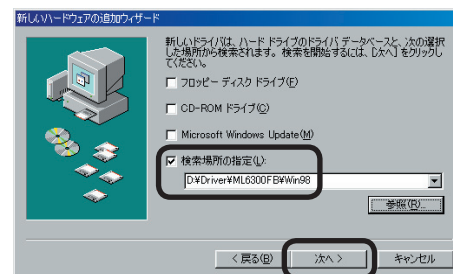
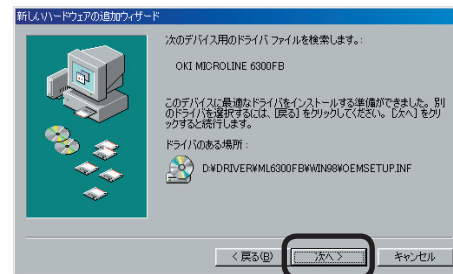
すでに Windows98 が起動している場合は、再起動してください。

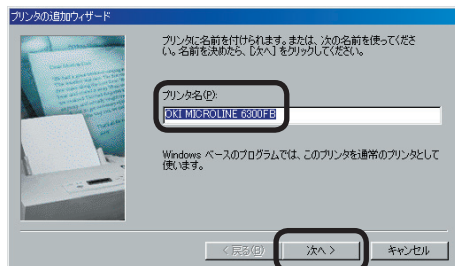
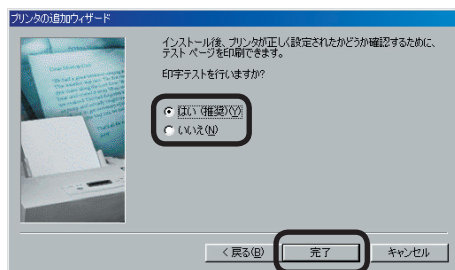
❸『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

※『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合は、USB インタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、⑯へ進みます。

❹『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『検索場所の指定』のみにチェックして、「D:¥UsbDriver」と入力し、『次へ』をクリックします。

❻ USB ドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

❼『必要なソフトウェアがインストールされました』で、『完了』をクリックします。

❽ 再度『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されるので、『次へ』をクリックします。

❾『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

❿ プリンタソフトウェア CD-ROM が CD-ROM ドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』のみにチェックして、「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win98」と入力し、『次へ』をクリックします。

⓫『次へ』をクリックします。

⑫『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⑬テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。(Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。)

⑭『完了』をクリックします。

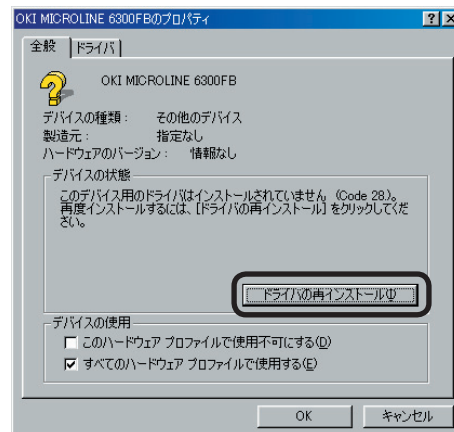
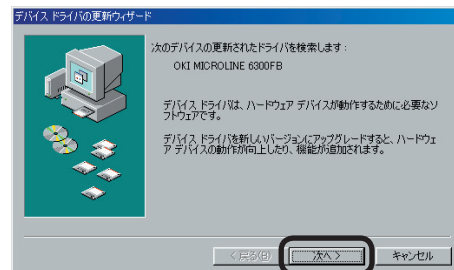
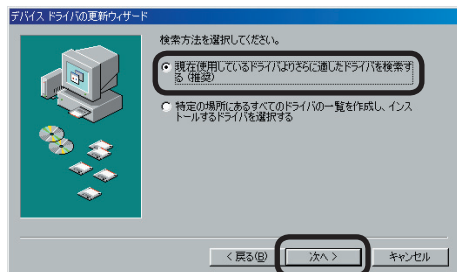
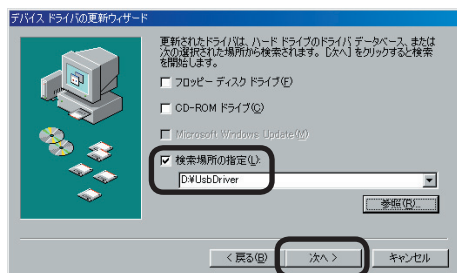
⑮『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合

⑯『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

⑰『デバイスマネージャ』タブを開きます。

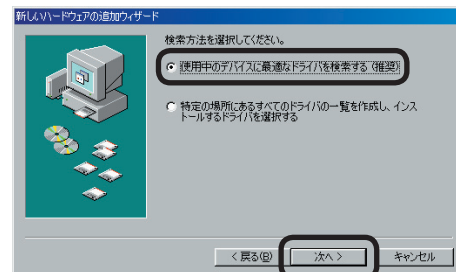
⑱『その他のデバイス』で『OKI MICROLINE 6300FB』を選択し、『プロパティ』をクリックします。

⑲『ドライバの再インストール』をクリックします。

⑳『デバイスドライバの更新ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

㉑『現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

㉒プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥UsbDriver』と入力して、『次へ』をクリックします。

㉓USB ドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

㉔『インストールが完了しました』で、『完了』をクリックします。

㉕『Oki USB Driver プロパティ』画面で『閉じる』をクリックします。

㉖『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

㉗『使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

㉘ プリンタソフトウェア CD-ROM が CD-ROM ドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥ML6300FB¥Win98』と入力して、『次へ』をクリックします。

㉙『次のデバイス用のドライバファイルを検索します』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

㉚『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

㉛ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）

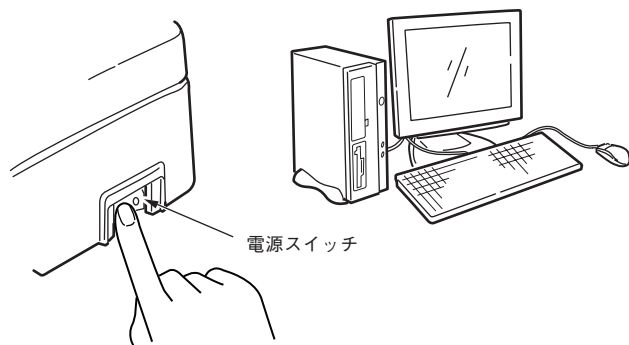
㉜『完了』をクリックします。

㉝『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

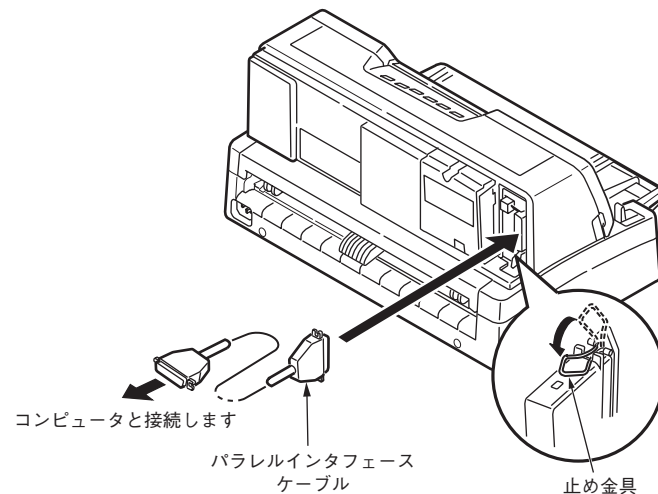
これでセットアップは終了です。

4 パラレル接続で Windows にセットアップします

パラレル接続でホストコンピュータに接続します

パラレルインタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータに合わせて IEEE std1284-1994 準拠の双方向パラレルケーブルをお使いください。
パラレルインタフェースの信号線ピン配列は、「パラレルインタフェース仕様」（応用編）をご覧ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「OFF」にします。

2 パラレルインタフェースケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンタ側の止め金具で固定します。

3 コンピュータにパラレルインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

動作環境

プリンタの設定

印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化します」(146 ページ)を参照してください。

プリンタドライバの動作環境

Windows Vista の場合

Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX(PC-9821 を除く)で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

WindowsServer2003 の場合

WindowsServer2003/2003(x64版)日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX(PC-9821 を除く)で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

WindowsXP の場合

WindowsXP/XP(x64版)日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX(PC-9821 を除く)で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

Windows2000 の場合

Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC9821 シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

WindowsMe の場合

WindowsMe 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC9821 シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

Windows98 の場合

Windows98 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC9821 シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

Windows95 の場合

Windows95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC9821 シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

WindowsNT4.0 の場合

Windows NT Server4.0 日本語版もしくは WindowsNT Workstation4.0 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC9821 シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

※特に記載がない場合は、Windows Vista と WindowsServer 2003 と WindowsXP には 64bit 版も含みます。

日本語版以外の OS には対応していません。

プリンタドライバのセットアップ

- Windows Vista/Server2003/XP/2000/NT4.0 では、Administrator の権限(コンピュータの管理者の権限)が必要です。
- Windows95 のバージョンによってセットアップ手順、画面表示などが異なります。Windows95 のバージョンは「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択すると表示されます。バージョンを確認の上、セットアップを行ってください。
- プリンタソフトウェア CD-ROM の Readme.txt には、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

- プリンタソフトウェア CD-ROM(プリンタに添付されていたもの)
- Windows95 日本語版オペレーションシステム(CD-ROM もしくはフロッピーディスク)(Windows95 をご使用の方のみ)
- WindowsNT Server4.0 日本語版もしくは Windows NT Workstation4.0 日本語版オペレーティングシステム(CD-ROM)(WindowsNT4.0 をご使用の方のみ)

なお、説明の中ではフロッピーディスクのドライブは A:、CD-ROM のドライブ名は D: を例にしています。

Windows Vista 環境で使用します

[インストーラを使用してセットアップを行います]

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ コンピュータの電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

❸ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

※ USB インターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❺ しばらくすると、『自動再生』の画面が表示されますので、『Autorun.exe の実行』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❻『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されますので、『許可』をクリックします。

❼『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

❽ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❾『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❿『ポートの選択』の画面が表示したら、『LPT1:』選択し、『次へ』をクリックします。

⓫『プリンタ名の入力』の画面ではプリンタ名を変更することができます。プリンタ名を変更したい場合は『プリンタ名の変更』ボタンをクリックし、『プリンタの設定』画面にて設定します。
また、「通常使うプリンタ」に設定する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。
設定が終了したら、『次へ』をクリックします。

⓬『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

⓭ プリンタの電源を ON にします。

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

・ セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

※ USB インターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ コンピュータ電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

❺『新しいハードウェアが見つかりました』の画面が表示されますので、『ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）』を選択します。

❻『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』ボタンをクリックします。

❼『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 6300FB のドライバソフトウェアをオンラインで検索しますか』の画面が表示された場合は、『オンラインで検索しません』を選択します。

❽『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 6300FB に付属のディスクを挿入してください』の画面が表示されますので、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❾『下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください』の画面が表示されますので、『OKI MICROLINE 6300FB 1.0.0.0 OKI d:¥drivers¥vista¥…』を選択して『次へ』をクリックします。

※ 64bit 版をご使用の場合は、『OKI MICROLINE 6300FB 1.0.0.0 OKI d:¥drivers¥vista64¥…』を選択します。

❿『 このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました』の画面が表示され、インストールが終了します。『閉じる』ボタンをクリックします。

『新しいハードウェアが見つかりました』の画面が表示されない場合

⓫『スタート』-『コントロールパネル』-『システム』-『デバイスマネージャ』をクリックします。

⓬『ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』ボタンをクリックします。

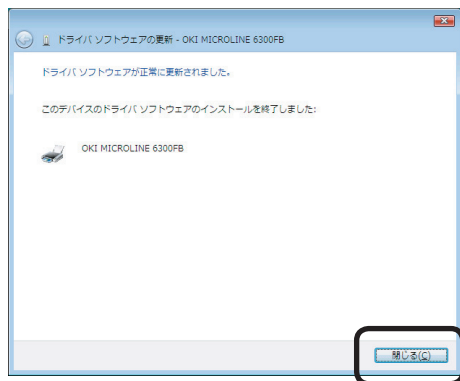
⓭『 ほかのデバイス』の『OKI DATA CORP OKI MICROLINE 6300FB』をマウスの右ボタンでクリックして、『ドライバソフトウェアの更新』を選択します。

⓮『 どのような方法でドライバソフトウェアを更新しますか』の画面で、『コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します』をクリックします。

⓯『コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します』の画面が表示されますので、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。その後、テキストボックスに『D:¥Drivers¥Vista』と入力し、『次へ』をクリックします。

※ CD-ROM をセットした後、『自動再生』画面が表示されたら『×』をクリックして閉じてください。

※ 64bit 版をご使用の場合は、『D:¥Drivers¥Vista64』と入力します。

⑯『ドライバソフトウェアが正常に更新されました』の画面が表示され、インストールが終了します。『閉じる』ボタンをクリックします。

[「プリンタのインストール」からセットアップを行います]

・セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

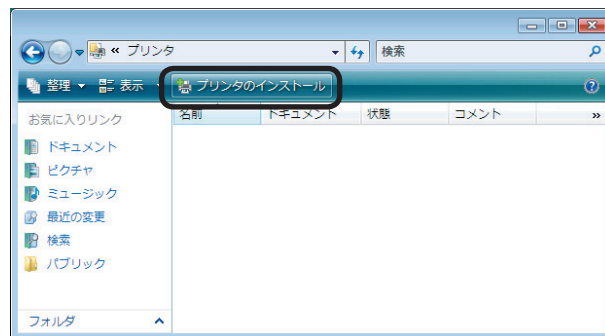
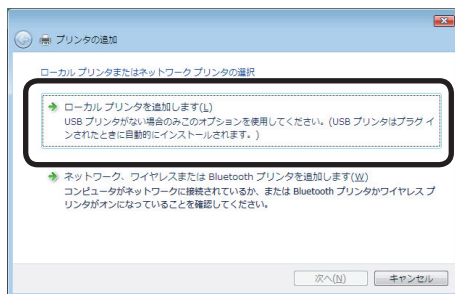
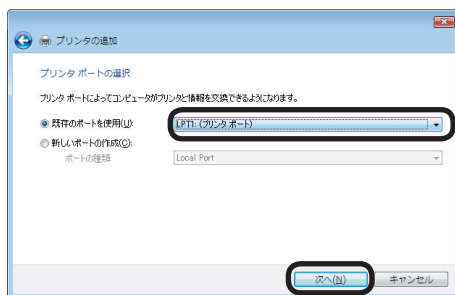
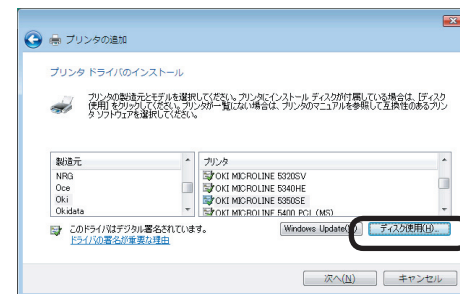
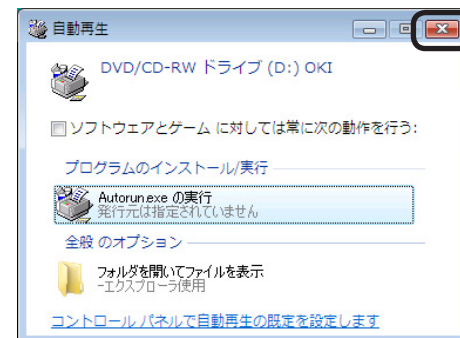
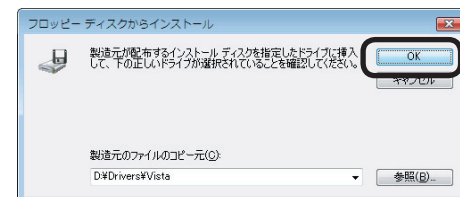
❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

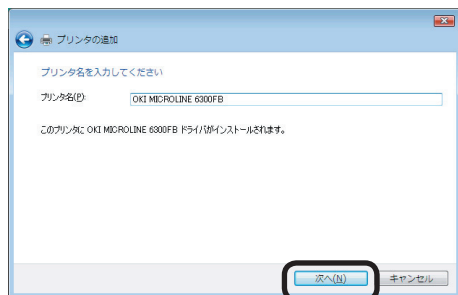
❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

※ USB インターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❸ コンピュータ電源を ON にし、Windows Vista を起動します。

❹『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』をクリックします。

❺『プリンタのインストール』をクリックします。

❻『ローカルプリンタまたはネットワークプリンタの選択』の画面で『ローカルプリンタを追加します』をクリックします。

❼プリンタポートの選択』の画面で『LPT1:(プリンタポート)』を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。

❽『プリンタドライバのインストール』の画面が表示されますので、『ディスク使用』ボタンをクリックします。

❾『フロッピーディスクからインストール』の画面が表示されますので、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
その後、テキストボックスに「D:¥Drivers¥Vista」と入力し、『OK』をクリックします。
※ CD-ROM をセットした後、『自動再生』の画面が表示されたら「×」をクリックして閉じてください。
※ 64bit 版をご使用の場合は、「D:¥Drivers¥Vista64」と入力します。

⑩『プリンタドライバ』の画面で『OKI MICROLINE 6300FB』を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。

⑪『プリンタ名を入力してください』の画面ではプリンタ名を変更することができます。プリンタ名を変更したい場合は、新しいプリンタ名を入力してください。設定後は『次へ』をクリックします。

⑫ユーザーアカウント制御』の画面が表示されたら、『続行』ボタンをクリックします。

⑬『OKI MICROLINE 6300FB が正しく追加されました』の画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックします。
テストページを印刷したい場合は、『完了』ボタンをクリックする前に『テストページの印刷』ボタンをクリックします。

⑭プリンタの電源を ON にします。

4
Windows Vista 環境で使用します

WindowsServer2003 環境で使用します

［インストーラを使用してセットアップを行います］

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

※ USB インターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❸ コンピュータの電源を ON にし、WindowsServer2003 を起動します。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❺『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❻ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❼『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❽『ポートの選択』の画面が表示したら、『LPT1:』選択し、『次へ』をクリックします。

❾『プリンタ名の入力』の画面ではプリンタ名を変更することができます。プリンタ名を変更したい場合は『プリンタ名の変更』ボタンをクリックし、『プリンタの設定』画面にて設定します。
また、「通常使うプリンタ」に設定する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。
設定が終了したら、『次へ』をクリックします。

❿『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

⓫ プリンタの電源を ON にします。

［プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースでWindowsServer2003 と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsServer2003 を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

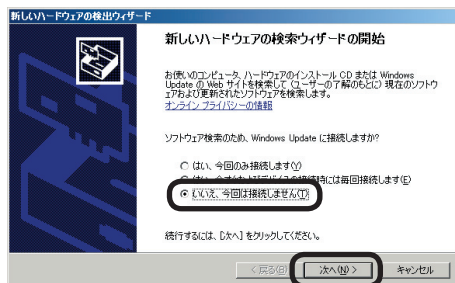
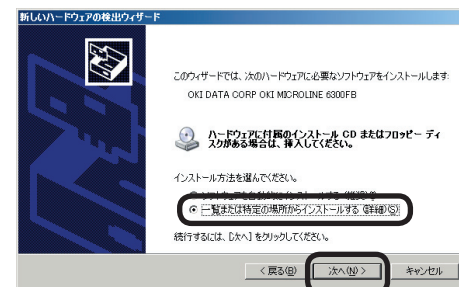
❸ プリンタの電源を「ON」にします。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❹ WindowsServer2003 を起動します。

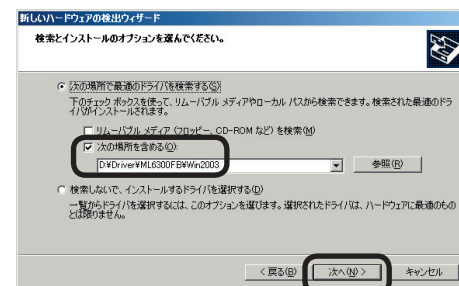
すでに WindowsServer2003 が起動している場合は、再起動してください。

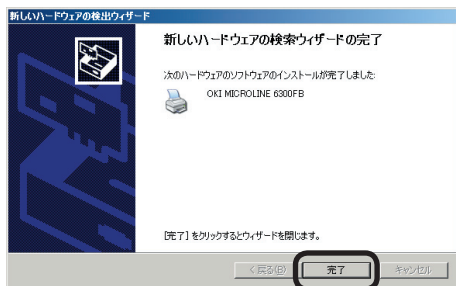
❺『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示され、『ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？』と表示されますので、『いいえ、今回は接続しません』をチェックし、『次へ』をクリックします。

※ この画面は WindowsServer2003 の Service Pack 適用状況により、表示されない場合があります。

❻ 下画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする』をチェックして、『次へ』をクリックします。

❼『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win2003」と入力して『次へ』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

※ WindowsServer2003 x64 Editionsをご使用の場合は、「D:¥Driver¥ML6300FB¥W2003x64」と入力します。

ファイルのコピーが開始されます。

❽『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

❾『プリンタと FAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

WindowsXP 環境で使用します

［インストーラを使用してセットアップを行います］

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

※ USB インターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❸ コンピュータの電源を ON にし、WindowsXP を起動します。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❺『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❻ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❼『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❽『ポートの選択』の画面が表示したら、『LPT1:』選択し、『次へ』をクリックします。

❾『プリンタ名の入力』の画面ではプリンタ名を変更することができます。プリンタ名を変更したい場合は『プリンタ名の変更』ボタンをクリックし、『プリンタの設定』画面にて設定します。
また、「通常使うプリンタ」に設定する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。
設定が終了したら、『次へ』をクリックします。

❿『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

⓫プリンタの電源を ON にします。

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースで WindowsXP と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsXP を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面(新しいハードウェアの検出ウィザード)が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限(コンピュータの管理者の権限)をもったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

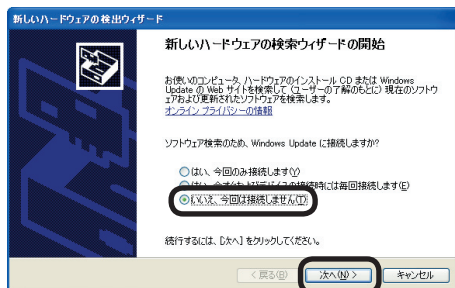
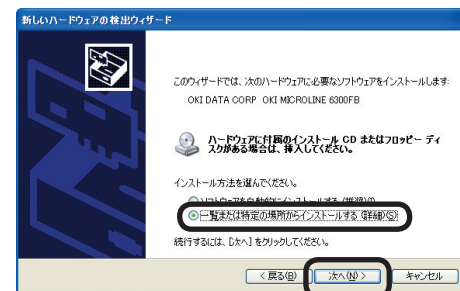
❸ プリンタの電源を「ON」にします。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❹ WindowsXP を起動します。

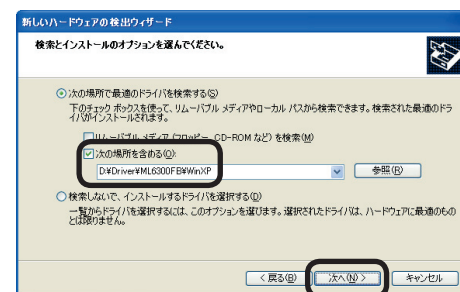
すでに WindowsXP が起動している場合は、再起動してください。

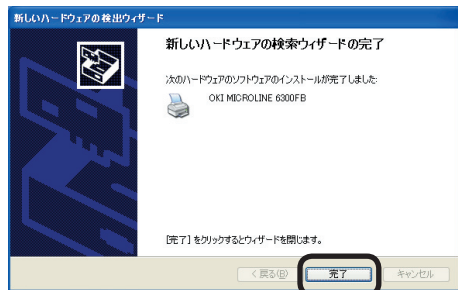
❺『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示され、『ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?』と表示されますので、『いいえ、今回は接続しません』をチェックし、『次へ』をクリックします。

※ この画面は WindowsXP の Service Pack 適用状況により、表示されない場合があります。

❻ 下画面が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。

❼『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROM など)を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、「D:¥Driver¥ML6300FB¥WinXP」と入力して『次へ』をクリックします。

※プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

※ WindowsXP Professional x64 Editionをご使用の場合は、「D:¥Driver¥ML6300FB¥WinXPx64」と入力します。

ファイルのコピーが開始されます。

❽『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

❾『プリンタと FAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

Windows2000 環境で使用します

[インストーラを使用してセットアップを行います]

- セットアップを行う際は、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

※ USB インターフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❸ コンピュータの電源を ON にし、Windows2000 を起動します。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

❺『使用許諾契約』の画面が表示された場合は、契約内容をよくお読みになり、『同意する』をクリックします。

※ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしても何も表示されない場合は「D:¥Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❻ 以下の画面が表示したら、『ドライバセットアップ』を選択し、『ドライバのインストール』をクリックします。

❼『ローカル / ネットワーク』の画面が表示したら、『ローカルプリンタ』選択し、『次へ』をクリックします。（ネットワークプリンタには対応しておりません。）

❽『ポートの選択』の画面が表示したら、『LPT1:』選択し、『次へ』をクリックします。

❾『プリンタ名の入力』の画面ではプリンタ名を変更することができます。プリンタ名を変更したい場合は『プリンタ名の変更』ボタンをクリックし、『プリンタの設定』画面にて設定します。
また、「通常使うプリンタ」に設定する場合は、チェックボックスにチェックをつけます。
設定が終了したら、『次へ』をクリックします。

❿『プリンタドライバのインストール完了』の画面が表示され、インストールが終了します。
『完了』ボタンをクリックします。

⓫ プリンタの電源を ON にします。

［プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います］

・ プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。
・ セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ パラレルインターフェースケーブルを接続します。

❸ Windows2000 を起動します。

❹ プリンタの電源を「ON」にします。

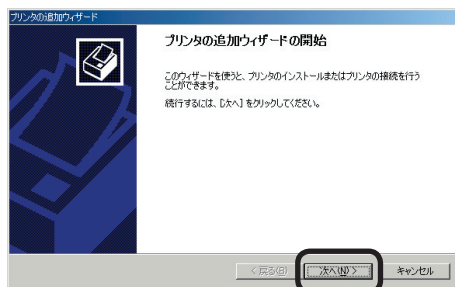
※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

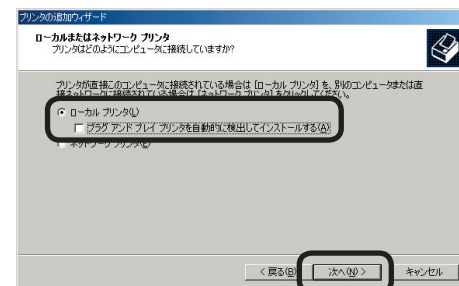
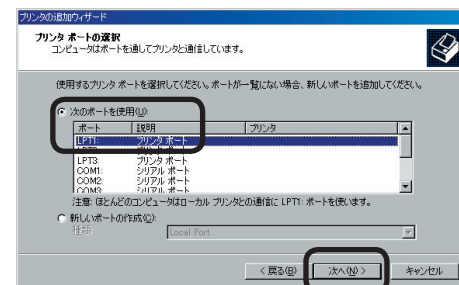
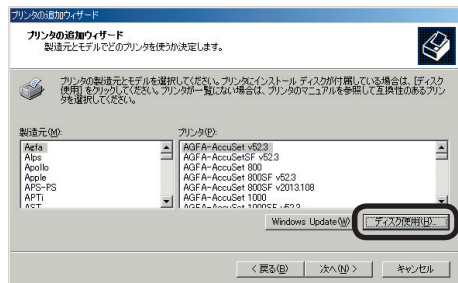
『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面が表示された場合は、『キャンセル』をクリックします。

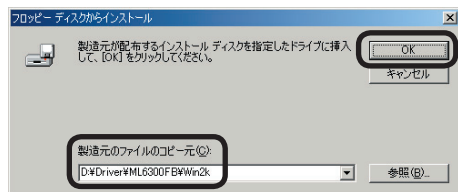
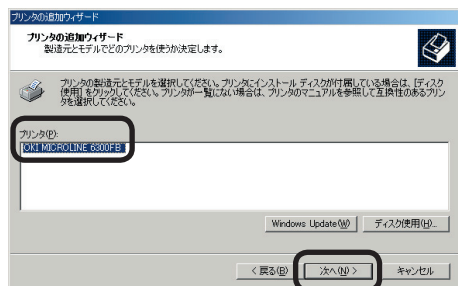
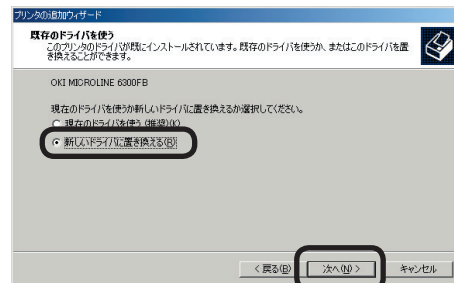
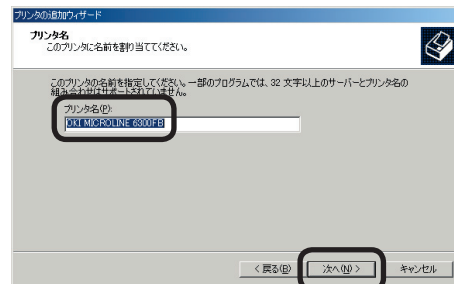
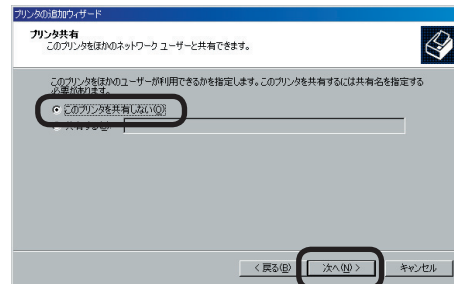
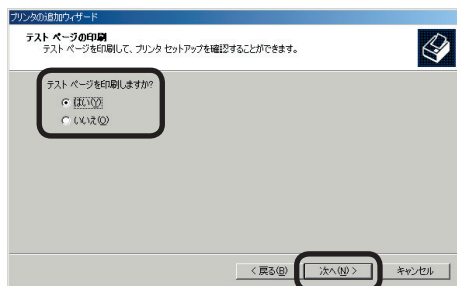
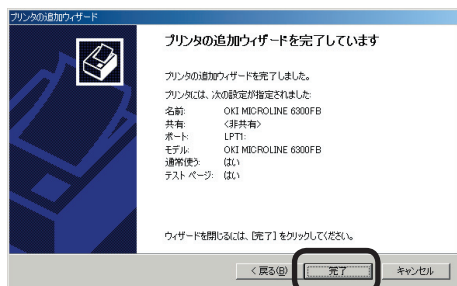
❺『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。

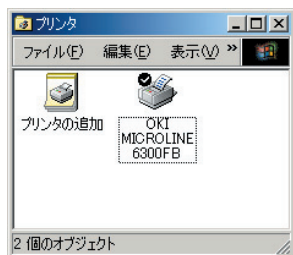
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、セットアップしようとしているプリンタアイコンがすでにある場合は、右ボタンでクリックし、『削除』を選択します。

❻『プリンタの追加』をダブルクリックします。

❼『プリンタの追加ウィザードの開始』画面で、『次へ』をクリックします。

❽『ローカルプリンタ』を選択し、『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外して、『次へ』をクリックします。

必ず『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外してください。

❾『次のポートを使用』を選択して、『LPT1: プリンタポート』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓾『ディスク使用』をクリックします。

⓫『インストール』画面が表示されたら、プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、「製造元のファイルのコピー元：」に「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win2k」と入力して『OK』をクリックします。

※プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。

⓬『プリンタ』でプリンタの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

⓭『既存のドライバを使う』画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓮『プリンタ名』を確認し、『通常使うプリンタ』で『はい』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓯『 このプリンタを共有しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

⑯ テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『次へ』をクリックします。

⑰『プリンタの追加ウィザードを完了しています』画面で、『完了』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑱『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

WindowsMe 環境で使用します

［プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います］

- プリンタソフトウェア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。

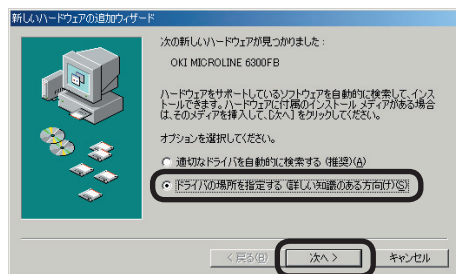
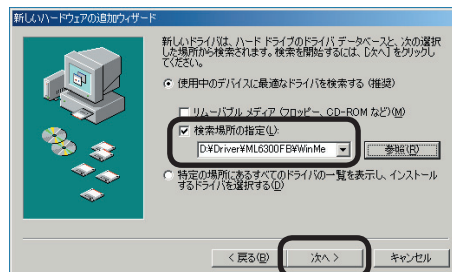
『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

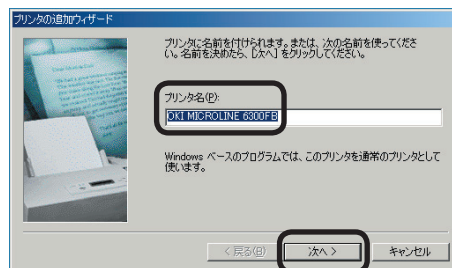
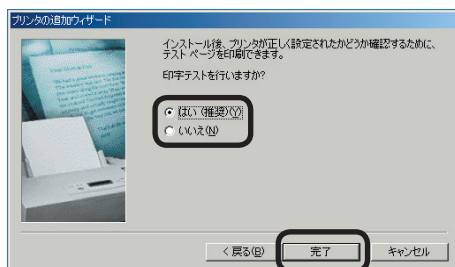
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ WindowsMe を起動します。

すでに WindowsMe が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して『次へ』をクリックします。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥ML6300FB¥WinMe』と入力して、『次へ』をクリックします。

❺ プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

❻『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❼ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

❽『完了』をクリックします。

❾『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

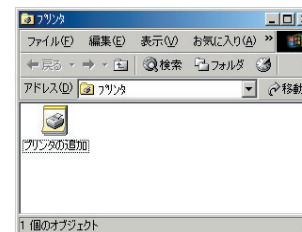
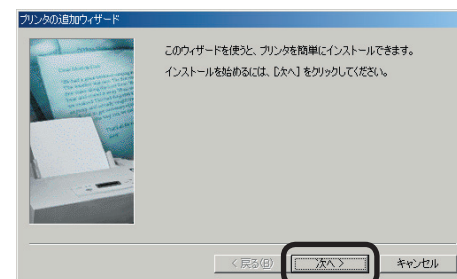
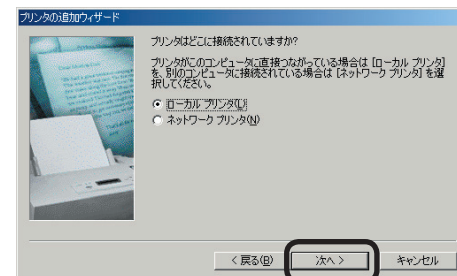
『プリンタの追加』からのセットアップ

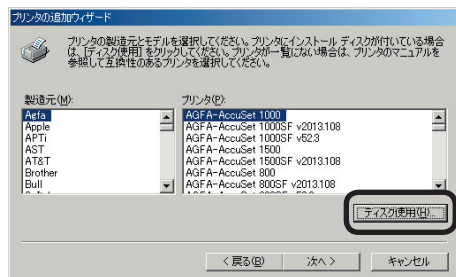
❶ プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ コンピュータの電源を ON にして、Windows Me を起動します。

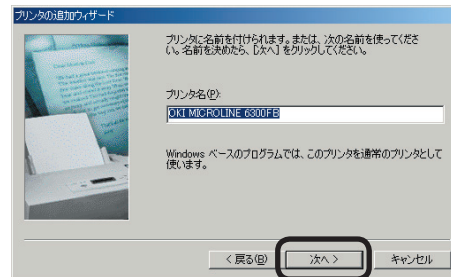
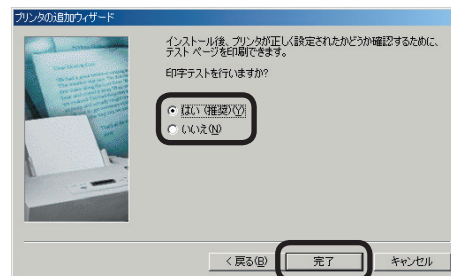
❸『スタート』―『設定』―『プリンタ』を選択します。

❹『プリンタの追加』をダブルクリックします。

❺『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されますので、『次へ』をクリックします。

❻『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

❼ 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

❽ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に『D:¥Driver¥ML6300FB¥WinMe』と入力し、『OK』をクリックします。

❾『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

❿『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓫『プリンタ名 :』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⓬ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

⓭『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

Windows98 環境で使用します

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

- プリンタソフトウェア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

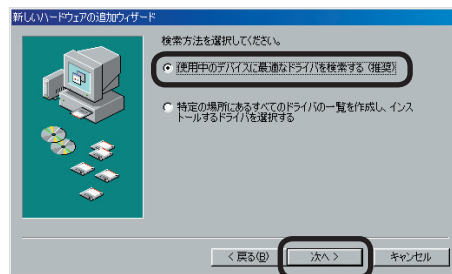
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ Windows98 を起動します。

すでに Windows98 が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

❹『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択して『次へ』をクリックします。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、『D: ¥Driver¥ML6300FB¥Win98』と入力して、『次へ』をクリックします。

❻ プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

❼『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❽テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。(Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。)

❾『完了』をクリックします。

❿『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『プリンタの追加』からのセットアップ

❶ プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ コンピュータの電源を ON にして、Windows98 を起動します。

❸『スタート』－『設定』－『プリンタ』を選択します。

❹『プリンタの追加』をダブルクリックします。

❺『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

❻『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

❼ 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

❽ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に『D:¥Driver¥ML6300FB¥Win98』と入力し、『OK』をクリックします。

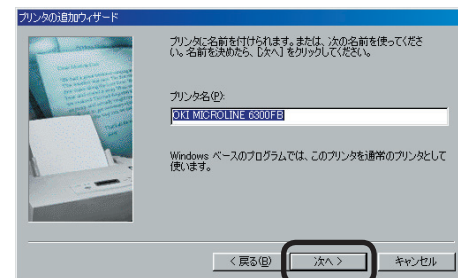
4

Windows98 環境で使用します

❾『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）

❿『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

⓫『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

⓬テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、「OK」をクリックします。（Windows98 がプリインストールされた環境においては、CD-ROM の内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。）

⓭『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

Windows95 環境で使用します

[プラグアンドプレイ機能を使ってセットアップを行います]

- プリンタソフトウェア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。

Windows95 のバージョン 4.00.950 または 4.00.950 a の場合

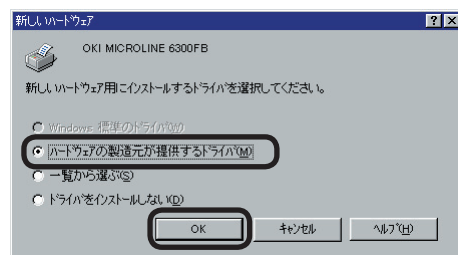
❶ プリンタの電源を「ON」にします。

※ USB インタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

❷ Windows95 を起動します。

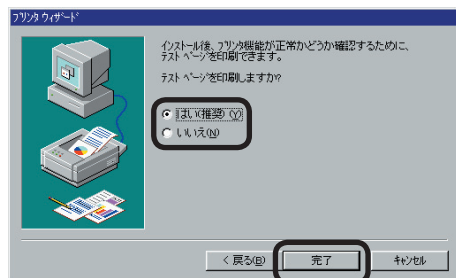
すでに Windows95 が起動している場合は、再起動してください。

❸『新しいハードウェア』画面が表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

『デバイスドライバウィザード』が表示された場合は「Windows95 のバージョン 4.00.950B または 4.00.950C の場合」（94 ページ）の手順にしたがってください。

❹ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、「配布ファイルのコピー元：」に「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win95」と入力し、『OK』をクリックします。

❺『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❻ テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows95 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」と入力し、「OK」をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク（Disk XX）をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、「OK」をクリックします。）

❼『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

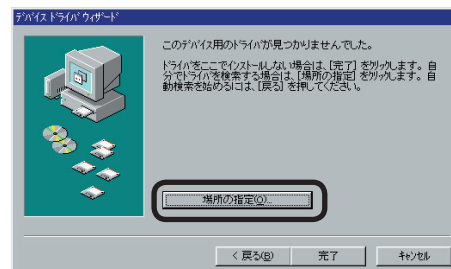
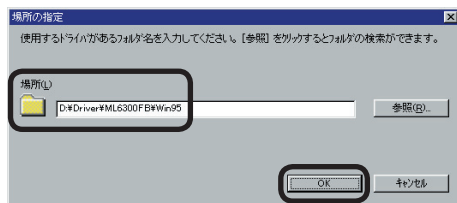
Windows95 のバージョン 4.00.950B または 4.00.950C の場合

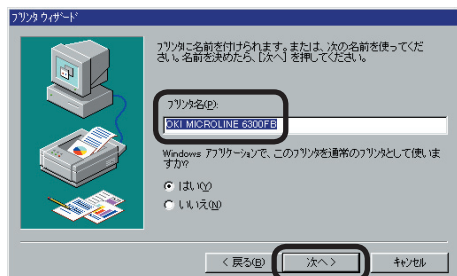
❶ プリンタの電源を『ON』にします。

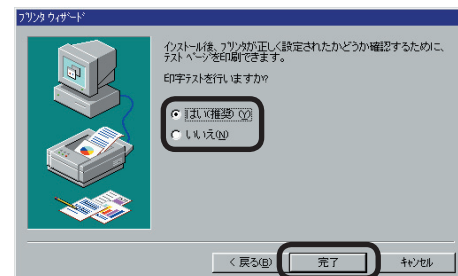
❷ Windows95 を起動します。

すでに Windows95 が起動している場合は、再起動してください。

❸『デバイスドライバウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

❹『場所の指定』をクリックします。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、「場所」に「D:¥Driver¥ML6300FB¥Win95」と入力して、『OK』をクリックします。

❻ プリンタドライバが見つかったことを確認し、『完了』をクリックします。

❼『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

❽ テキストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

途中で「ディスクの挿入」ダイアログが表示された場合は、「OK」をクリックし、プリンタソフトウェア CD-ROM が CD-ROM ドライブへセットされていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「D:¥Driver¥HU¥Win95」と入力し、「OK」をクリックします。
更に「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに Windows95 の CD-ROM をセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」と入力し、「OK」をクリックします。
（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク（Disk XX）をフロッピードライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、「OK」をクリックします。）

❾『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

WindowsNT4.0 環境で使用します

- プリンタソフトウェア CD-ROM に付属するインストーラではインストールできません。
- プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブ挿入後、インストーラが自動再生してしまった場合は、インストーラを閉じ、マニュアルの手順通りにインストールを継続してください。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。

なお、説明の中では、DOS/V PC で WindowsNT Workstation4.0 日本語版を使用し、CD-ROM のドライブ名を D:＿ とします。

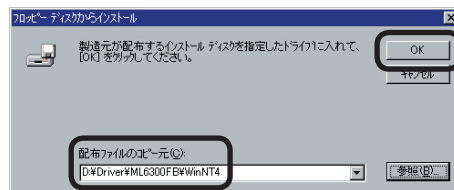
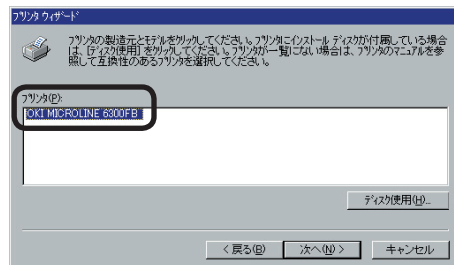
❶ プリンタウィザードを起動させます。

『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』で起動します。

❷『 このコンピュータ』をチェックし、『次へ』をクリックします。

❸ 接続ポートを選び、『次へ』をクリックします。

❹『ディスク使用』をクリックします。

❺ プリンタソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして、『配布ファイルのコピー元』を「D:¥Driver¥ML6300FB¥WinNT4」と入力し、『OK』をクリックします。

❻ プリンタの機種名を選びます。

❼ 引き続き、画面に表示される指示にしたがって、適切な項目を選びます。

ファイルのコピーが開始されます。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROM ドライブに WindowsNT4.0 の CD-ROM をセットし、「コピー元」に、「D:¥i386」と入力し、「OK」をクリックします。

❽『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

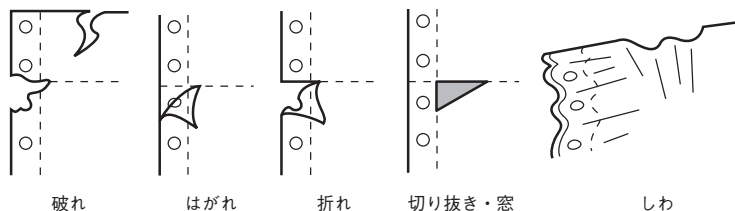
5 印刷します

用紙規格および印字範囲

用紙に関する注意

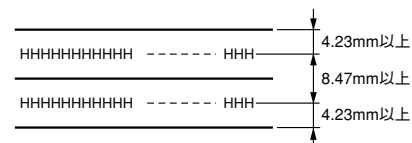
使用禁止の用紙

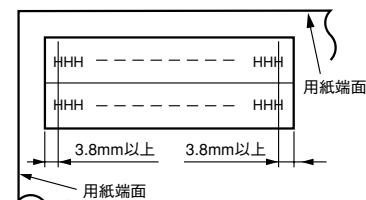
次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ，印字ずれ、また、最悪の場合はワイヤドットのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン，クリップ，ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの，波打っているもの，はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒

プレプリント用紙

罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。

横罫線について

- 文字の行間隔は 8.47mm（1/3 インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも 4.23mm 以上とってください。

縦罫線について

- 縦罫線は文字中心から 3.8mm 以上とってください。

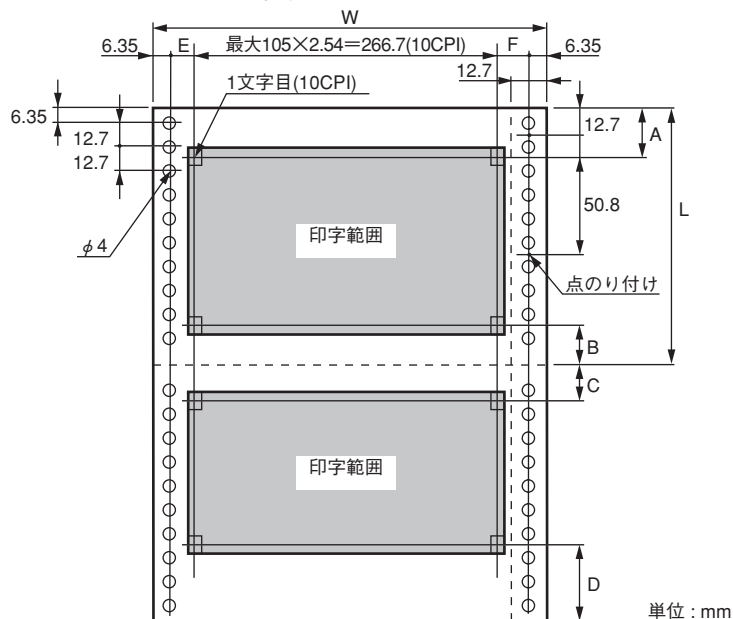
 罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度 0.1°にしてください。

用紙の保管条件（JIS X 6195 による）

用紙は温度 10 ～ 30℃，相対湿度 30 ～ 70% の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

用紙サイズおよび印字範囲

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	76.2 ～ 304.8mm(3～12 インチ)
L	用紙長さ	76.2 ～ 355.6mm(3～14 インチ) ただし、25.4mm(1 インチ) の整数倍で、279.4mm(11 インチ) を標準にします。
A	頭出し位置	6.35mm(1/4 インチ) 以上　メニュー設定によります。
B	印字禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ)
C	印字禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ)
D	用紙終了検出位置	6.35mm(1/4 インチ) 以上　メニュー設定によります。

記号	名　称	規格値
E	1 文字目印字位置	12.7～22.2mm(1/2～7/8 インチ) 用紙幅が 11～12 インチのときは 14.0～22.2mm(0.55～7/8 インチ)
F	印字禁止範囲	12.7mm(1/2 インチ)

印字精度保証は26.5mm(1.04 インチ) 以上です。(メニュー設定項目を参照してください)

印字精度保証は19.05mm(3/4 インチ) 以上です。

- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。
- 用紙残 100mm 以下の場合は、用紙退避できません。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔 , コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100 秒（JIS P 8119）以下とします。

用紙連量

○単　紙

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 用紙連量 45 ～ 110kg（52 ～ 128g/m^2）の用紙が使用可能です。

○複写紙

- 用紙の種類は、感圧紙 , 裏カーボン紙 , インタリーブ紙です。
- 用紙連量は、34kg（40g/m^2）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは 0.03mm 以下です。
- 複写枚数は、最大 6 枚(オリジナル＋ 5 枚)です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大 5 枚(オリジナル＋ 4 枚)です。また、全体の用紙厚さは 0.36mm を超えないようにしてください。

用紙連量は、単位面積(788 × 1091mm)の大きさに換算して、1000 枚分の重量を kg で表わしたものです。

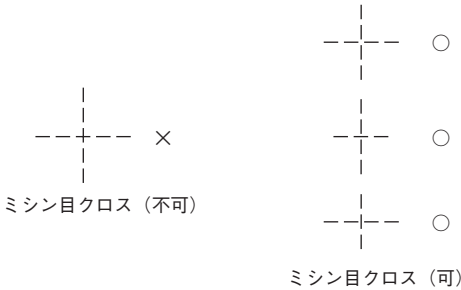
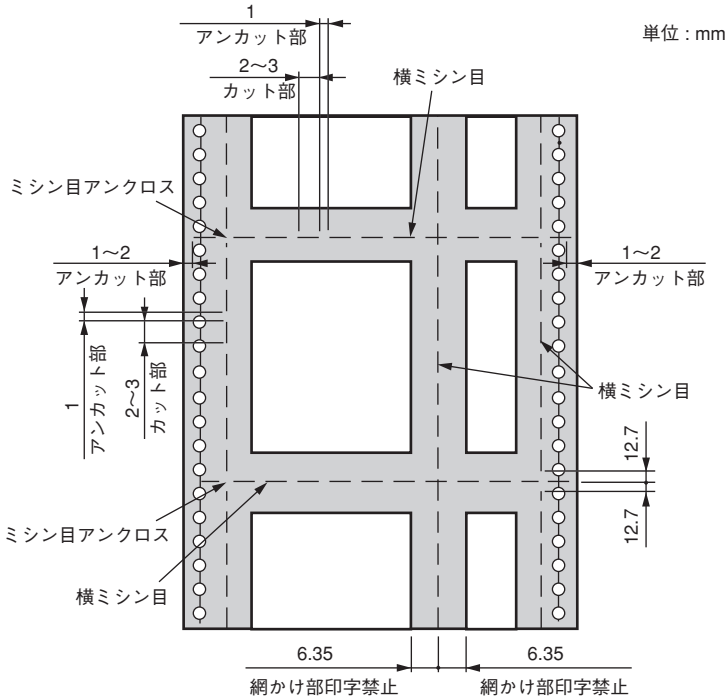
最大用紙厚さ

0.36mm

ミシン目

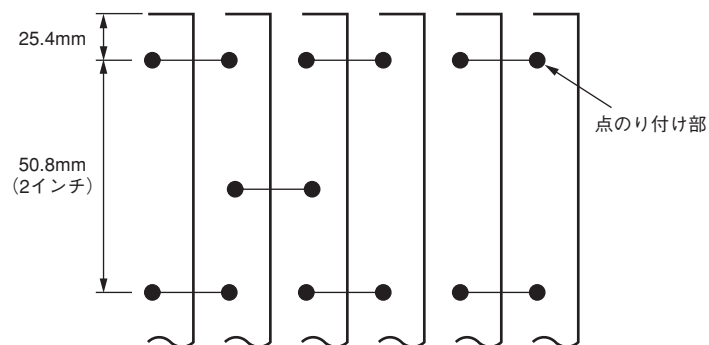
- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。
  特に、用紙折り曲げ部は破れやすいので、注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質，用紙連量，複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

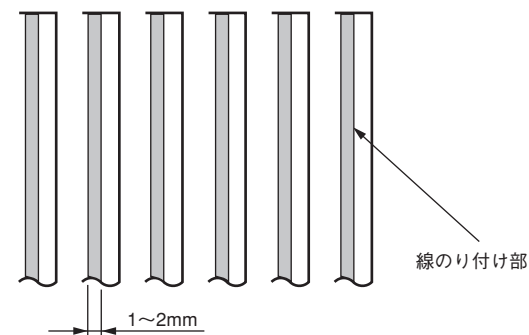
	複写枚数	カット部の長さ	アンカット部の長さ
横ミシン目	1 ～ 6 枚	2 ～ 3mm	1mm
縦ミシン目	1 ～ 6 枚	3mm	1mm

- 横ミシン目　用紙の両端 1 ～ 2mm には、カット部を入れないでください。
  上下 6.35mm（1/4 インチ）以内は、印字しないでください。
  横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右 6.35mm（1/4 インチ）以内は印字しないでください。
  横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。

複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、線のり付け、または紙ホッチキスとし、両端ともに同じとじ方とします。
ただし、層間ずれ（1 枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付け、または線のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが 3mm 程度発生する場合があります）
金属ホッチキスの使用は厳禁です。

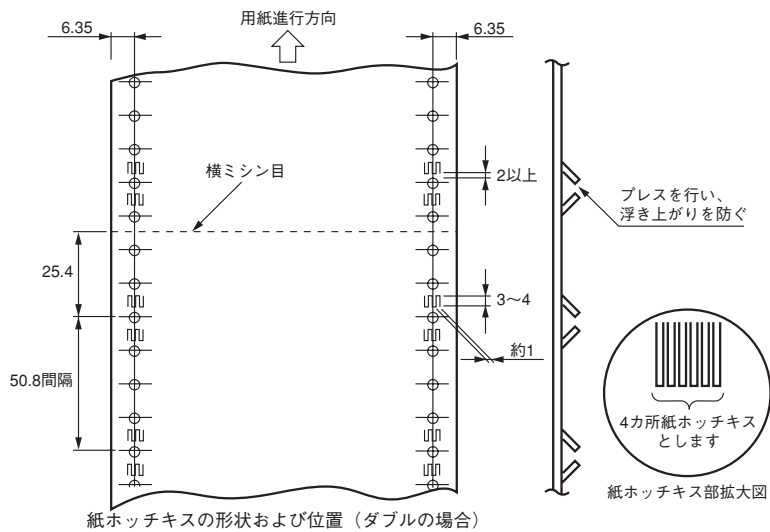
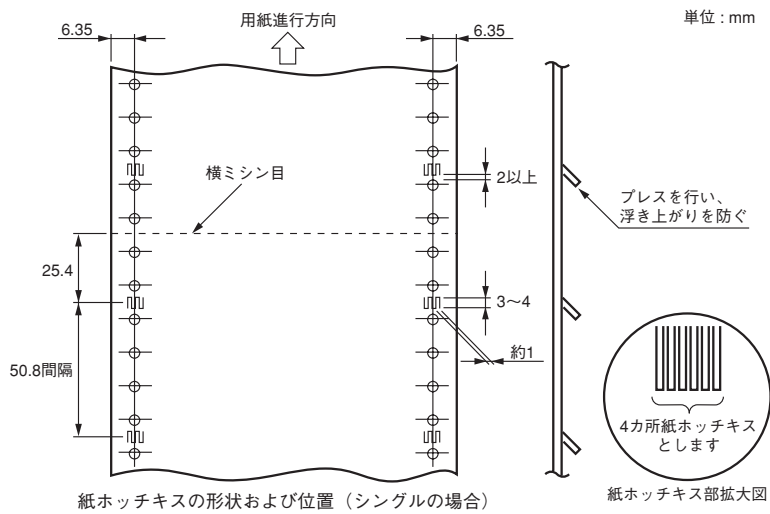
○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし、片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ 3 ～φ 5mm とします。
- 点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。用紙送り精度の乱れの原因になります。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 横ミシン目と 1 つ目の点のり位置は 25.4mm 以下とします。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。

○線のり付け

- 線のり付け部は均一であり、幅は 1 ～ 2mm とします。
- 線のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- のりは用紙端よりはみ出ないようにしてください。
- のり付け部が固い場合、用紙送り精度の乱れなど発生しやすくなりますので注意してください。

○紙ホッチキス

- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。
- 紙ホッチキスは、ダブルホッチキスを推奨します。シングルホッチキスは使用可能ですが、層間ズレが発生する場合があります。

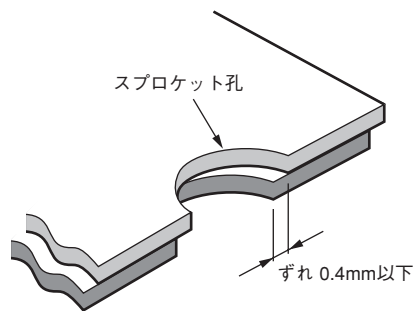
紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）

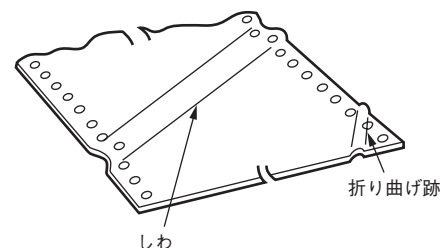
紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
ベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外の用紙も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

最大複写枚数	2 枚	3 枚	4 枚	5 枚	6 枚
1 枚目	34 ～ 55kg	34 ～ 43kg	34kg	34kg	34kg
2 枚目	34 ～ 70kg	34 ～ 43kg	34kg	34kg	34kg
3 枚目		34 ～ 70kg	34kg	34kg	34kg
4 枚目			34 ～ 70kg	34kg	34kg
5 枚目				34 ～ 70kg	34kg
6 枚目					34 ～ 70kg

スプロケット孔

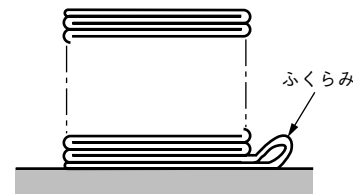
スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは 0.4mm 以下のものを使用してください。

しわ , 折り曲げ跡

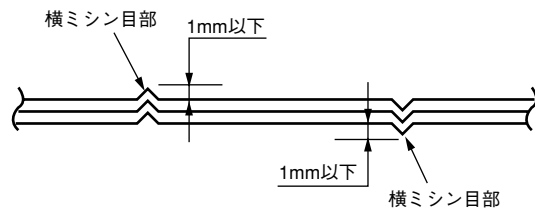
用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。用紙送り精度の乱れ , カールやジャム発生の原因になります。

用紙先端 , 下端のしわ , カール , 折れ , めくれ

用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。特に新しい用紙の場合、最初の数ページ～十数ページはカール等が発生している場合があるので使用しないようにしてください。

カール , 折れ , 曲がりの規定は 111 ページを参照ください。

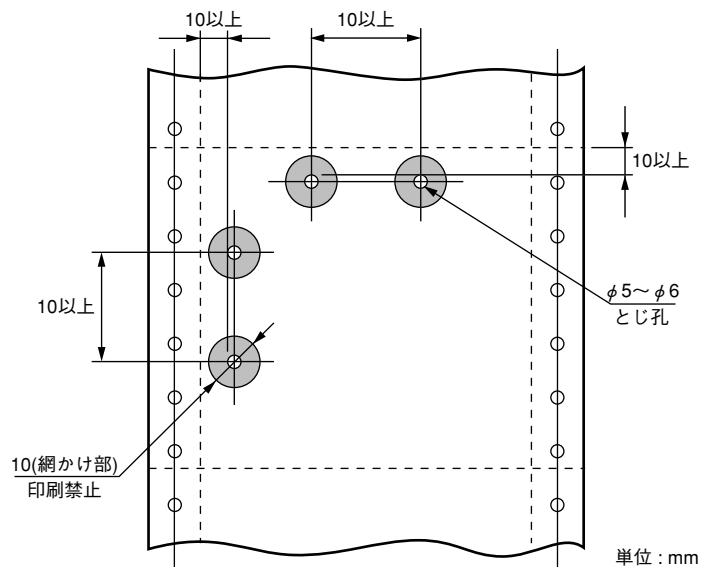
用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。
用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。

横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。盛り上がり高さは 1mm 以下になるようにしてください。

とじ孔

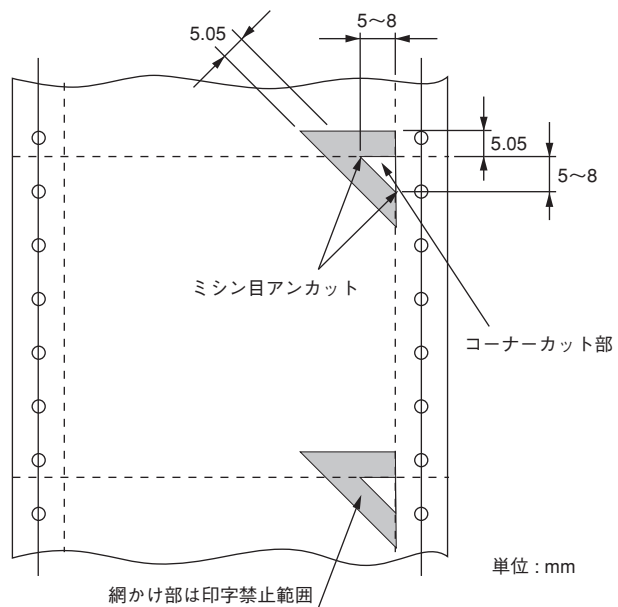
とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

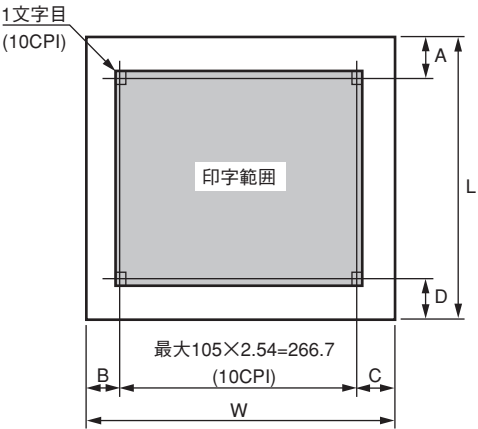
- とじ孔の周囲 5mm 以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

コーナーカット

注 コーナーカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナーカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

- コーナーカット部の下図網かけ部範囲内には印字しないでください。
- コーナーカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナーカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦／横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナーカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。
- コーナーカットの位置は、下図によります。

単票

単紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズは B5, B4, A4 を標準とします。

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	90 ～ 304.8mm(3.5～12 インチ)
L	用紙長さ	70 ～ 364mm(2.8～14.3 インチ) ✎
A	頭出し位置	6.35mm(1/4 インチ) 以上　メニュー設定によります。 ✎✎
B	1 文字目印字位置	6.35mm(1/4 インチ) 以上 用紙幅 11～12 インチのときは 19.05～28.6mm(3/4～9/8 インチ)
C	印字禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ)
D	印字禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ)　ただし、C 値範囲内で 106 文字目までです。

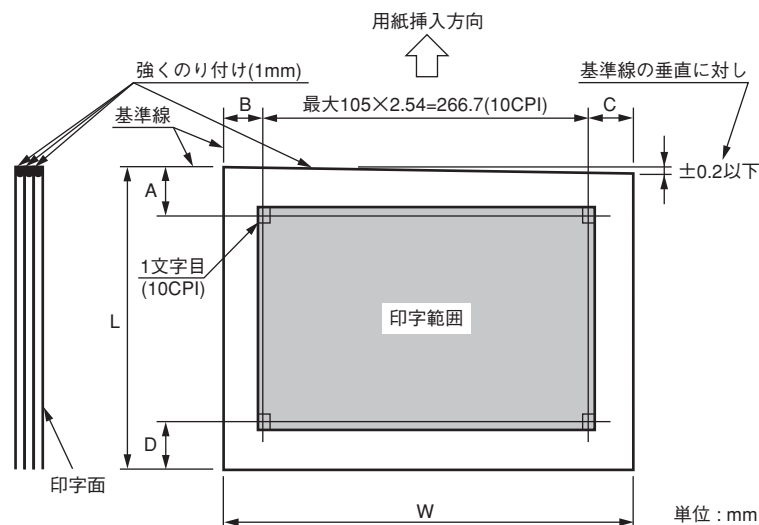
✎　A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。
✎✎　印字精度保証は6.35mm(1/4 インチ) 以上です。(メニュー設定項目を参照してください)

○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 用紙連量 45 ～ 180kg（52 ～ 209g/m^2）の用紙が使用できます。

- 45kg（52g/m^2）の用紙は剛性が少ないため、スタッキングは保証しません。
- 用紙の縦横比は、1 : 2 ／ 3 ～ 2 とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は 100 秒（JIS P 8119）とします。

複写紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズは B5, B4, A4 を標準とします。

記号	名　称	規格値
W	用紙幅	90 ～ 304.8mm(3.54～12 インチ)
L	用紙長さ	70 ～ 364mm(2.8～14.3 インチ) ✎
A	頭出し位置	6.35mm(1/4 インチ) 以上　メニュー設定によります。✎✎
B	1 文字目印字位置	6.35mm(1/4 インチ) 以上 用紙幅 11～12 インチのときは 19.05～28.6mm(3/4～9/8 インチ)
C	印字禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ)
D	印字禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ)　ただし、C 値範囲内で 106 文字目までです。

✎　A4 縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎ 印字精度保証は6.35mm(1/4 インチ) 以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

○用紙連量

- 用紙連量 34kg(40g/m²)の裏カーボン紙、または感圧紙を標準とします。
- 複写枚数は、最大 6 枚(オリジナル＋ 5 枚)です。また、全体の用紙厚さは 0.36mm を超えないようにしてください。

- 用紙の縦横比は、1：2 ／ 3 ～ 2 とします。
- 用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく、用紙の折れやジャムになる可能性があります。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- 挿入方向の上端にのり付けしてください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は 100 秒（JIS P 8119）以下とします。

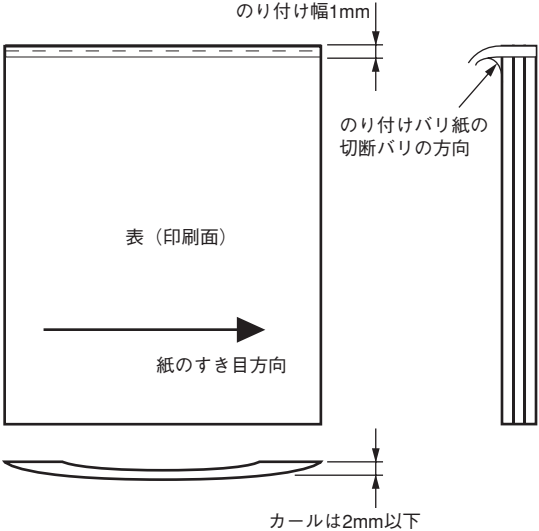
複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
1 枚目とベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外の用紙も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

最大複写枚数	2 枚	3 枚	4 枚	5 枚	6 枚
1 枚目	43 ～ 55kg（34kg）	43 ～ 55kg（34kg）	43 ～ 55kg（34kg）	43 ～ 55kg（34kg）	43 ～ 55kg（34kg）
2 枚目	43 ～ 55kg（34kg）	34kg	34kg	34kg	34kg
3 枚目		43 ～ 55kg（34kg）	34kg	34kg	34kg
4 枚目			43 ～ 55kg（34kg）	34kg	34kg
5 枚目				43 ～ 55kg（34kg）	34kg
6 枚目					43 ～ 55kg（34kg）

（　）内の用紙も使用可能です

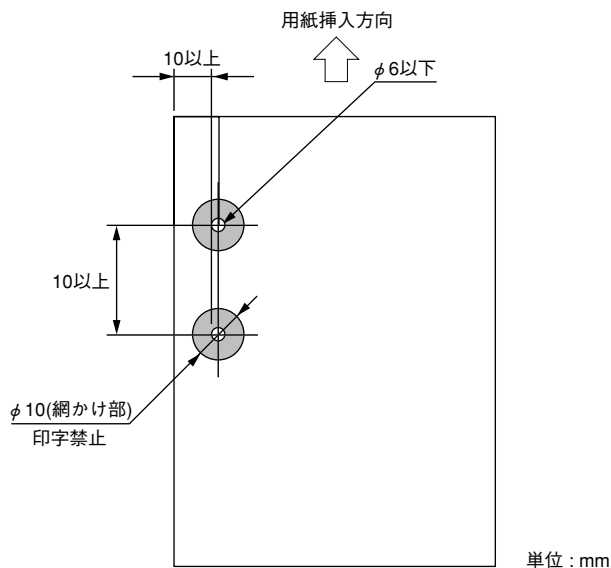
複写紙の重ね合わせの固定方法

- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅 1mm の線のり付けとします。（天のり）
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわやばりがあってはなりません。

- すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
- のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
- カールを防ぐため、保管方法に注意してください。カールは 2mm 以下とします。
- のり付け幅は基本的に 1mm としてください。
- 印字領域内には、とじ孔は開けないでください。

とじ孔

とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

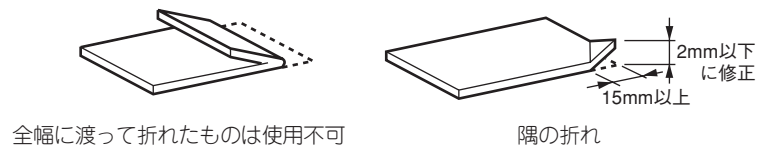
- とじ孔の周囲 5mm 以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

ミシン目

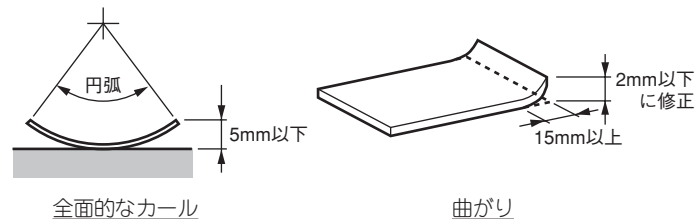
ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

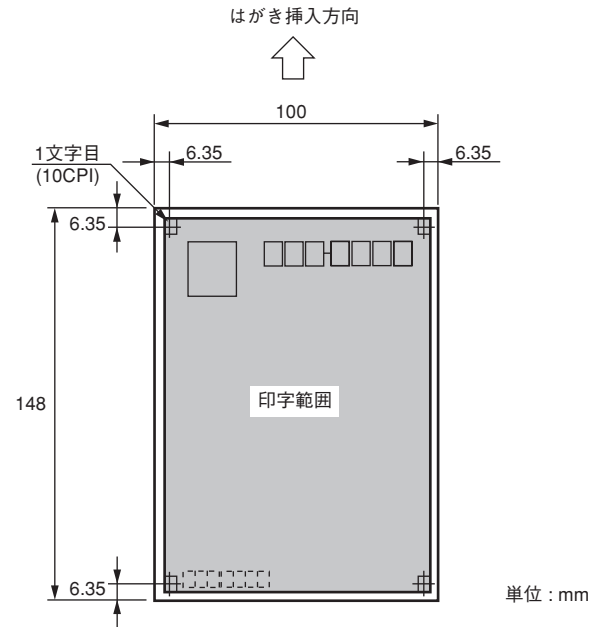
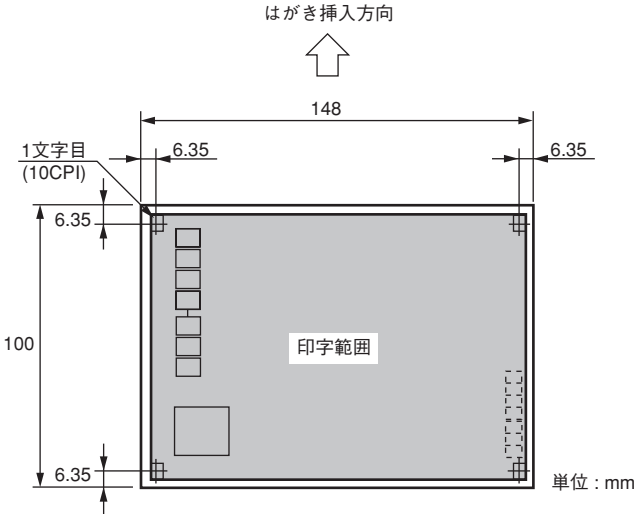
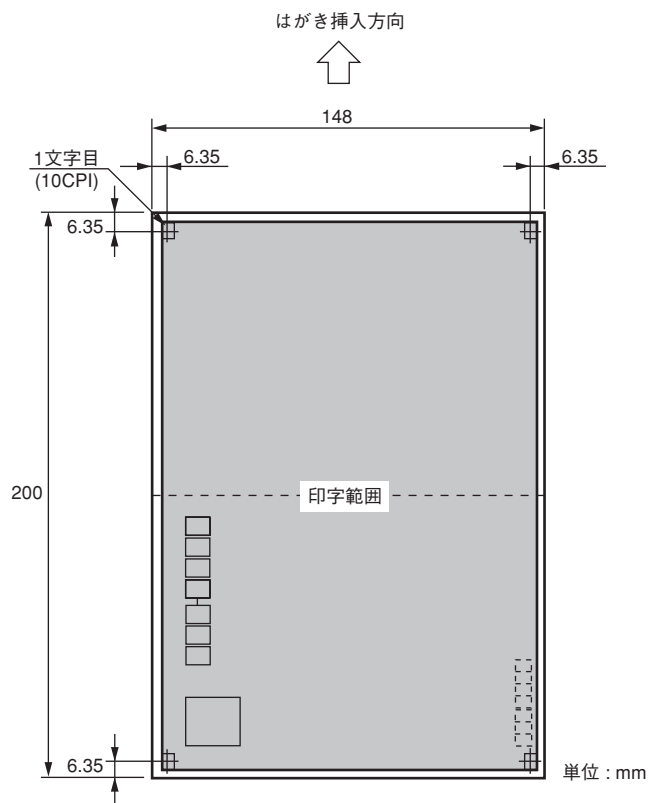
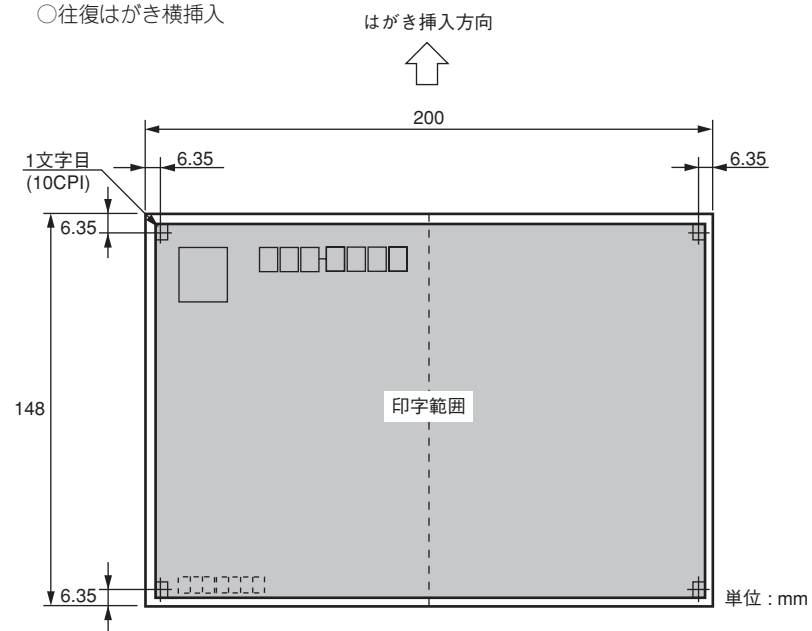
- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲 5.08mm 以内は印字しないでください。

折れ（単票・連続紙）

- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては 2mm 以下に修正してください。

カール，曲がり（単票・連続紙）

- 全面的なカールは 5mm 以下なら使用可です。［メニュー設定で頭出し位置が 2.12mm(1/12 インチ) に設定する場合、紙づまりが発生するため 2mm 以下］
- 用紙端から 15mm 以内で 2mm 以上の曲がりは使用不可です。

はがき

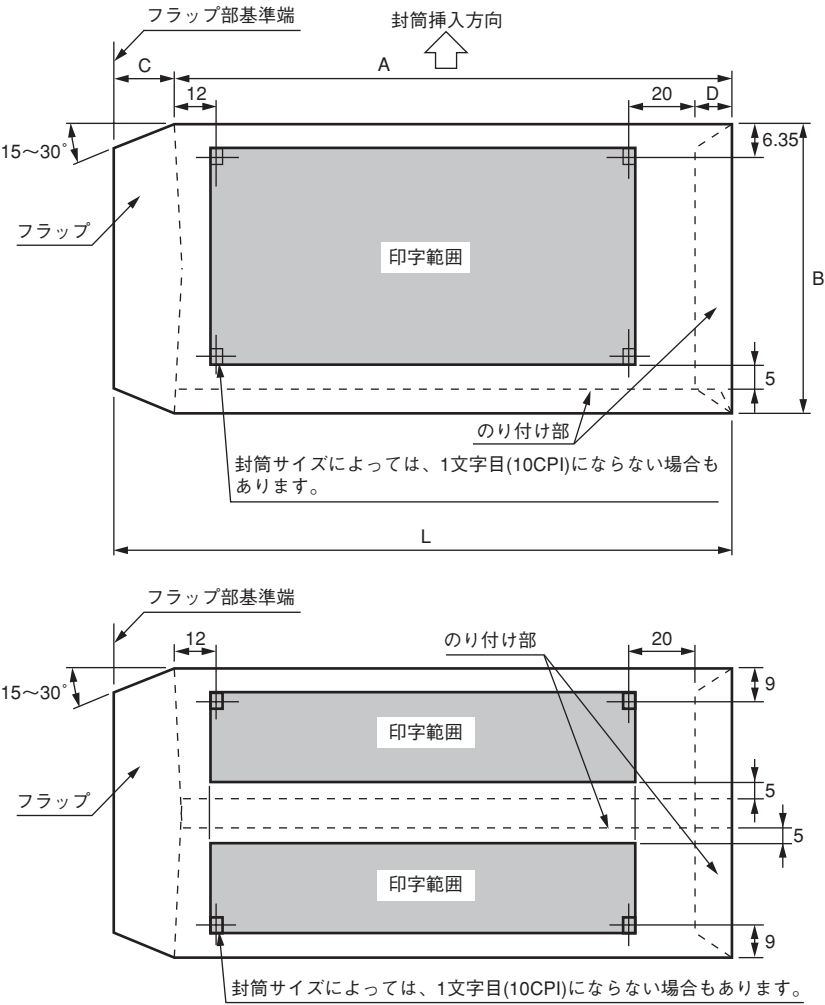
用紙サイズおよび印字範囲

○通常はがき縦挿入

○通常はがき横挿入

○往復はがき縦挿入

○往復はがき横挿入

使用はがき

官製はがき
坪量　190g/m²(連量 163kg 相当)
厚さ　0.23mm

- 折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
- はがきの反りは 2mm 以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。

- 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

封筒

型＼寸法	A	B	C	D	E
長形4号	205	90	15〜20	8〜20	220〜225
長形3号	235	120	15〜25	8〜20	250〜260
角形3号	277	216	15〜35	10〜20	292〜312

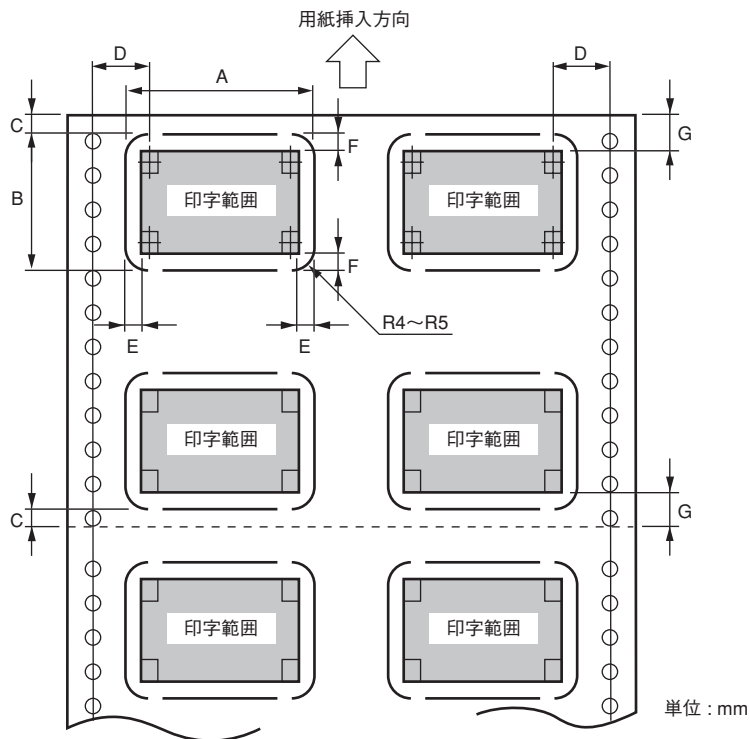
- 封筒は、JIS S 5502「封筒」に準拠した一重封筒とします。
- 用紙厚設定レバーで最大紙厚（中央重ね合わせ部）に合ったレンジを設定してください。（使用可能な封筒の最大紙厚は 0.36mm です）
- フラップ部基準端を有する形状のものを使用してください。
- 上端または下端でのり付けされている場合は、その面および前後各 5mm 以内での印字はさけてください。
- 破線部のくい込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字を行ってください。
- 次のような封筒の使用は禁止します。
  - 窓付きの封筒
  - フラップ部が折り返されている封筒
  - フラップ部にのり付け加工処理されている封筒
  - 二重封筒
- 封筒ののり付け部近くまで印字した場合、印字範囲であってものり付け部の状態（特にエッジ部の折れ，ふくらみ）によっては印字汚れがつく場合があります。

ラベル紙

ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。

ラベル紙を使用する場合は、事前に十分テストをして問題のないことを確認してください。

用紙サイズおよび印字範囲

「連続紙」(101 ページ) の規格に準じますが、下記にラベル紙固有の条件を示します。

記号	名　称	規格値
A	ラベル幅	50mm 以上
B	ラベル長さ	25mm 以上
C	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4 インチ) 以上　12.7mm(1/2 インチ) 以上を推奨
D	ラベル禁止範囲	用紙幅 304.4mm(12 インチ) のとき、14.0〜22.2mm(11/20〜7/8 インチ) 用紙幅 279.4mm(11 インチ) のとき、12.7〜22.2mm(1/2〜7/8 インチ)
E	印字禁止範囲	2.54mm 以上
F	印字禁止範囲	2mm 以上
G	印字禁止範囲	8.46mm(1/3 インチ) 以上 印字精度保証は 25.4mm(1 インチ) 以上

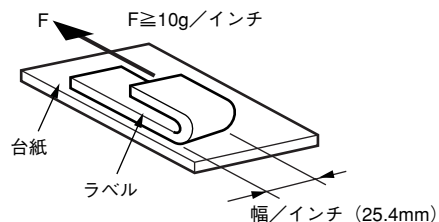
用紙連量

ラベルは上質紙で連量 55kg、厚さ 0.1mm 以下。台紙ははくり紙で厚さ 0.06 〜 0.08mm 以下です。

最大用紙厚さ

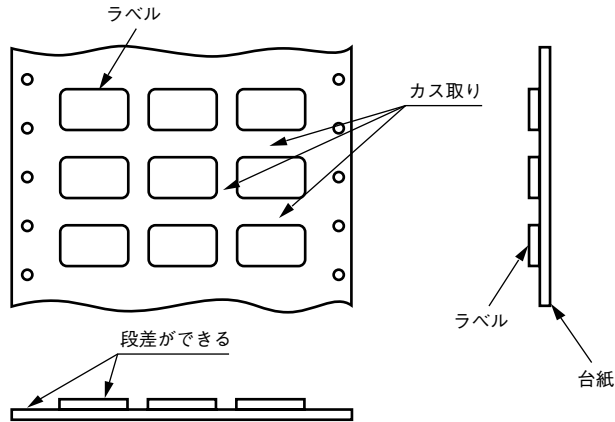
0.2mm

粘着剤

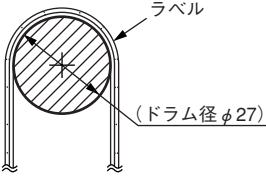
- はくり強度 10g/ インチ以上。
- 直径 27mm の円筒に巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないこと。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。

カット

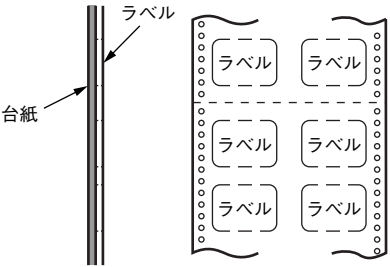
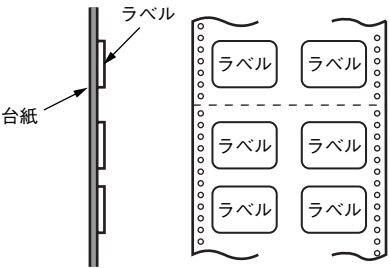
- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端1～2mmにはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に0.5～1mm程度のアンカット部を設けてください。

ラベルのカス取りについて

ラベルのカス取りは行わないでください。
〔ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと〕
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。

- ラベル紙と台紙の厚さは、合計0.2mm以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも0.1mm以下とします。
- 直径27mmの円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。

ラベルの貼付強度
次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

- かすとり（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

かすとりをしていないラベル紙

かすとりをしているラベル紙（使用しないでください）

再生紙

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。

宅配伝票

宅配伝票を使用する場合の注意点を示します。

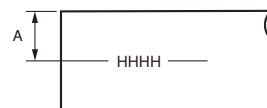
- 用紙サイズおよび印字範囲は、連続紙および単票の規格に準じます。
- 宅配伝票とは複写枚数 5 〜 13 枚（オリジナルを含む）で､厚さ 0.3 〜 0.78mm の伝票のことです。

- 複写能力 , 印字精度は保証外です。
- 厚さが不均一な伝票は、印字汚れやスキューの原因になりますので使用しないでください。

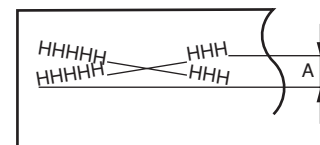
印字規格

用紙の頭出し位置

自動給紙したときの用紙上端から 1 行目中心までの位置精度。

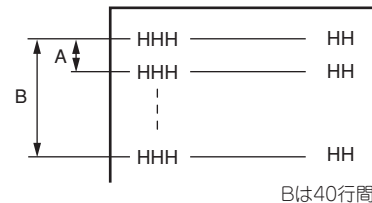
- 印字行の傾きは除く
- 用紙セットが正確であること

単位：mm

用 紙		A
連続紙	単紙（連量 55kg）	± 1
	その他の用紙	± 2
単票	単紙（連量 55kg）	± 1
	その他の用紙	± 2

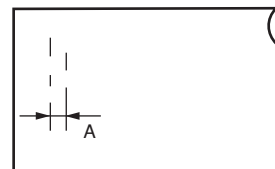
印字行の傾き

単位：mm

用 紙	印字幅	A
連続紙	260	1.0 以下
単票	100	1.0 以下
官製はがき	100	1.5 以下

改行精度

Bは40行間

単位：mm

用 紙		A=4.23	B=165.1
連続紙	単紙	± 0.5	± 1.0
	複写紙	± 0.8	−
単票	単紙	± 0.5	± 2.0
官製はがき		± 0.5	−

縦罫線のずれ

単位：mm

印刷方向	A
片方向	0.15 以下
両方向	0.3 以下

連続複写紙の層間ずれ

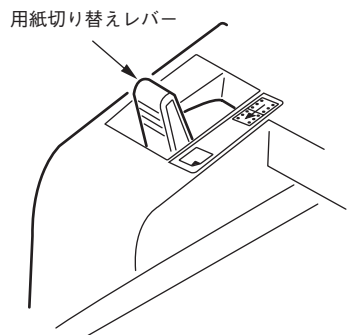
5 枚複写紙の 1 枚目と 5 枚目の印字ずれは 2mm 以下

単票をセットします

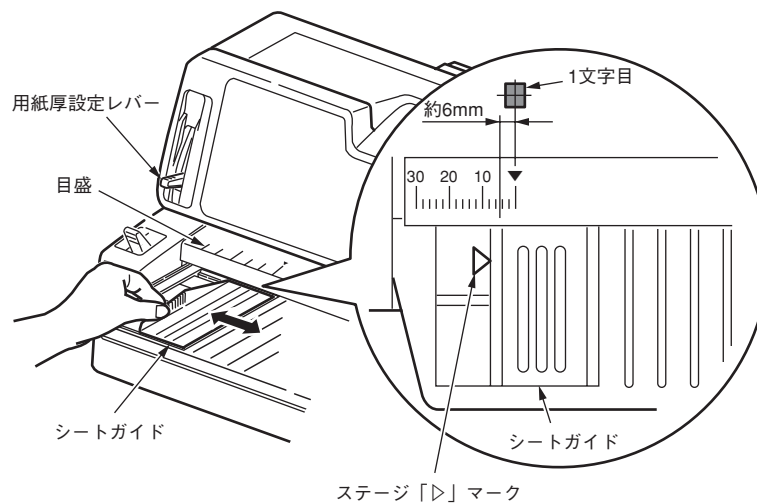
単票のセット

1 電源スイッチを「ON」にします。

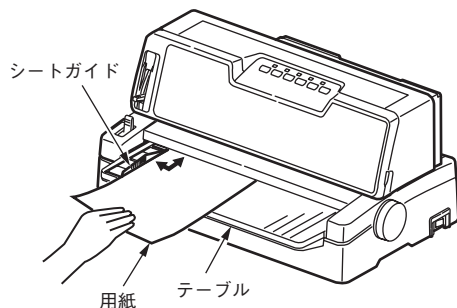
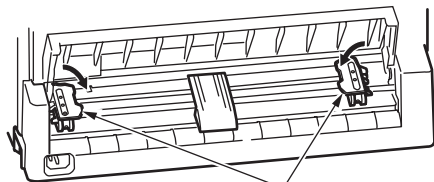
連続紙がセットされている場合は、印字済みの用紙を切り取って退避させるか排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」（123 ページ）を参照してください。

2 用紙切り替えレバーを単票「 」にセットします。

3 単票の左端位置にシートガイドをセットします。

- 目盛上の「▼」の位置が 1 文字目の中心になります。
- シートガイドをステージ「▷」マーク位置にすると、用紙左端より約 6mm の位置から印字を開始します。はがきサイズはこの位置で使用してください。
- 封筒を使用する場合は、フラップ部を折り返さずに使用してください。また、フラップ部への印字を避けるため、フラップの大きさに合わせてシートガイドを調整してください。

注 はがきサイズを使用するとき、ステージ「▷」マークより左へ移動して使用すると、斜めに吸入される場合があります。

4 使用する用紙に合わせて用紙厚設定レバーのレンジ位置を合わせます。（「用紙の厚さに応じた調整方法」(126 ページ参照)）

5 用紙は印字する面を表にして、左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に軽く突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

約２秒後に単票が自動的に吸入されます。(メニューに設定された待ち時間に従って吸入されます)
用紙がセットしにくい場合は用紙の後端を持ってまっすぐ差し込んでください。

- 用紙を斜めにセットするとそのまま斜めに吸入されますので、シートガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- 複写紙など厚い紙の場合は、自動的に吸入されるまで奥に軽く突き当ててください。
  複写紙または薄い紙の場合は、印字パターン(特に印字 Duty が高い場合)によっては、用紙下端がカールし、排出時、折れやジャムが発生する場合があります。
- 封筒はフラップ部を折り返さずに使用してください。また、封筒のフラップ部をシートガイドに強く突き当てると、用紙が斜めに吸入される原因になります。
- ちぎり伝票は、先端ののり付け部をきれいに取ってからご使用ください。スキュー給紙不良の原因となります。
- 単票を使用する場合はピントラクタカバーを閉じてください。ピントラクタカバーが開いた状態で使用すると用紙ジャムが発生します。

単票の排出方法

単票がプリンタ内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

2「 改頁」スイッチを押します。

用紙がテーブルに自動的に排出されます。

 用紙の長さが 297mm(A4 サイズ縦方向) を超える用紙の場合、テーブルから用紙が落ちることがあります。

連続紙をセットします

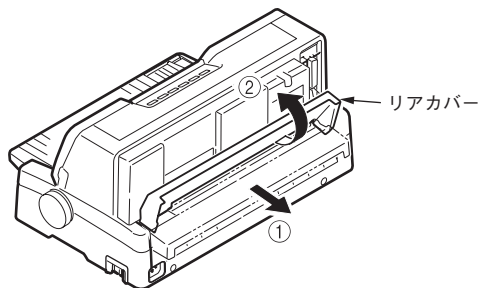
連続紙のセット

1 電源スイッチを「ON」にします。

- 単票がセットされていた場合は、用紙を排出します。

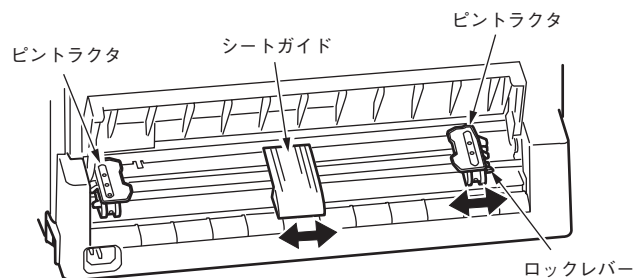
2 用紙切り替えレバーを連続紙「[↓]」にセットします。

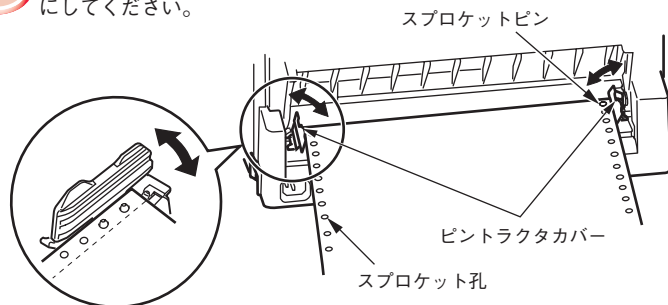
3 リアカバーを開きます。

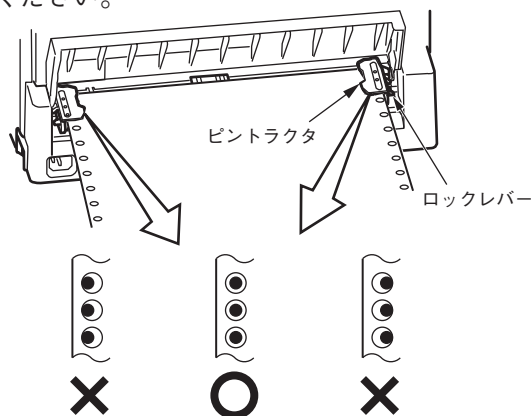
リアカバーを後ろ側に止まるまで引き出し①てから、上側に回転②させてロックしてください。

4 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

「◇」の位置が横方向の 1 文字目の中心になります。

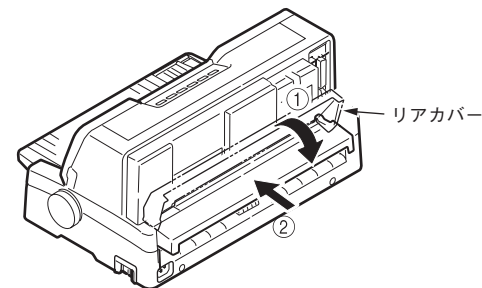
5 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。

シートガイドは、左右のピントラクタと等間隔に移動します。

6 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。

7 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーで固定します。

その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

連続紙のスプロケット孔に対するスプロケットピンの位置

8 リアカバーを閉じます。

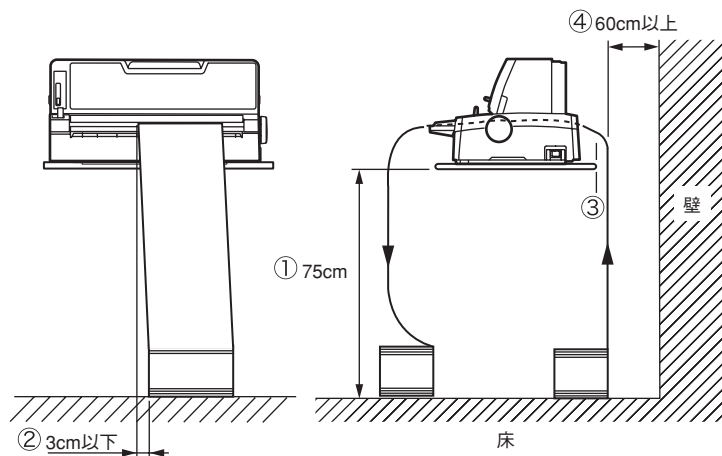
リアカバーを下側に押し下げ①てから、手前側に押込み②ロックしてください。

9 「ロード / 退避」スイッチを押します。

１行目印字位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

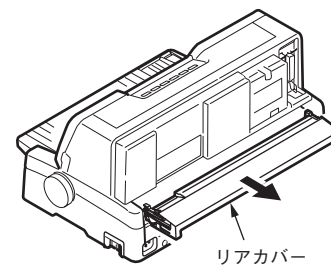
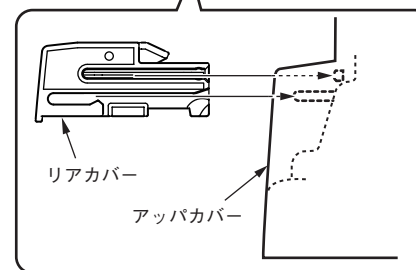
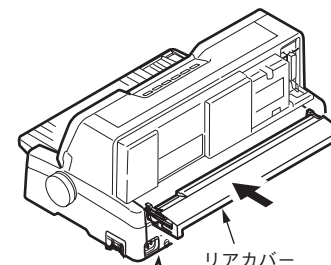
注

連続紙の置き方

- プリンタを置く机の高さは、75cm を目安にしてください。(①)
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm 以内にしてください。(②)
- プリンタの後部と机の縁を合わせてください。(③)
- プリンタの後部は、壁から 60cm 以上離してください。(④)

- 上記の置き方をしない場合には、給紙不良や用紙 JAM が発生することがあります。

注

リアカバーの取り扱いについて

- リアカバーを取り外す場合は矢印方向に引いて取り外してください。

- リアカバーを取り付ける場合はリアカバーの先端をアッパカバーの凸部に合わせて矢印方向に挿入してください。

- リアカバーを取り付け・取り外しする場合はリアカバーに無理な力を与えないでください。リアカバーの破損の原因となります。

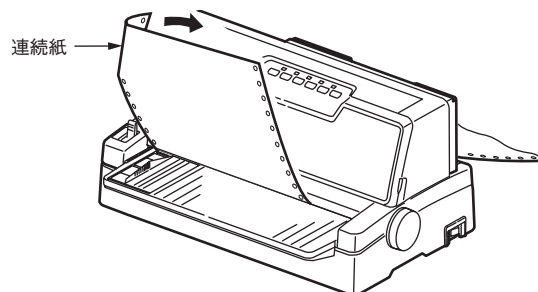
連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

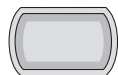
印刷済の連続紙を切り取るとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「用紙カット」スイッチを押します。

連続紙がテーブル側に繰り出されます。

2 連続紙をミシン目から切り取ります。

注 いきおいよくカットすると、ミシン目以外から破れる場合があります。

3 もう一度「用紙カット」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

連続紙を外すとき

1 印刷済みの連続紙を切り取ります。

前ページを参照してください。

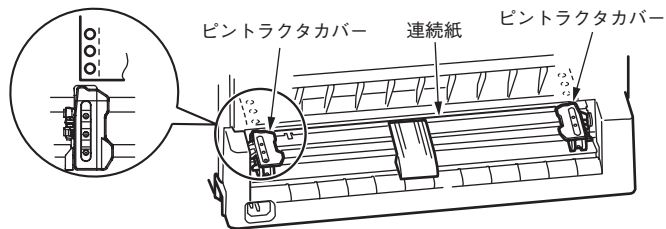
2「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

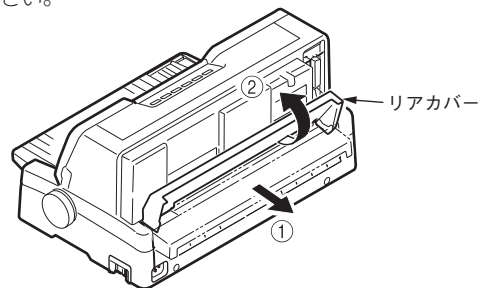
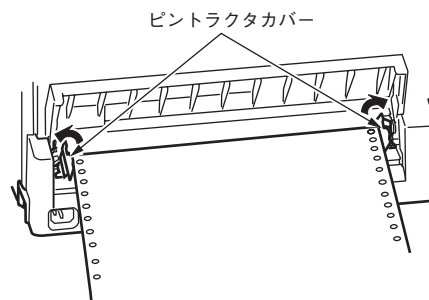
連続紙が元の位置に戻ります。

3「ロード / 退避」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

注

- 連続紙の後退量は最高 558.8mm(22 インチ) です。
558.8mm(22 インチ) 後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の最終ページのスプロケット孔がピントラクタのスプロケットピンから外れた状態で後退動作を行わないでください。用紙ジャムが発生します。

4 リアカバーを開きます。

リアカバーを後ろ側に止まるまで引き出し①てから、上側に回転②させてロックしてください。

5 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

6 ピントラクタカバーを元に戻します。

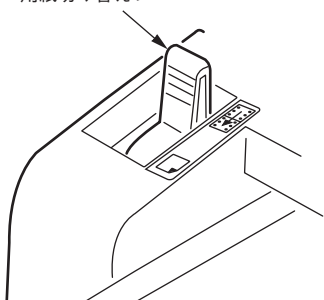
メモ ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁」スイッチを押して排出してください。

単票と連続紙の切り替え

単票から連続紙への切り替え

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

単票がセットされている場合は、「改頁」スイッチまたは「ロード / 退避」スイッチを押して、用紙を排出してください。

2 用紙切り替えレバーを連続紙「 」にセットします。

3 連続紙をピントラクタにセット後、「ロード / 退避」スイッチを押します。

1 行目印字位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

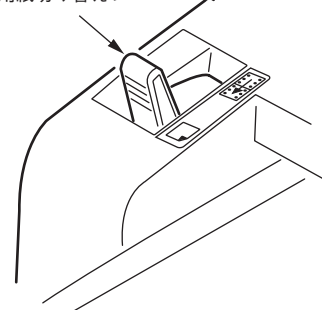
ロード/退避

注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

連続紙から単票への切り替え

1 「印字可」スイッチを押し、オフラインにします。

連続紙がセットされている場合は、印字済みの用紙を切り取り、「ロード / 退避」スイッチを押して退避させるか、「改頁」スイッチを押して排出してください。

2 用紙切り替えレバーを単票「 」にセットします。

3 単票をテーブルにセットします。

1 行目印字位置まで単票が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

注 用紙を斜めにセットするとそのまま斜めに吸入されますので、シートガイドに沿わせてまっすぐに差し込んでください。

用紙の厚さに応じた調整方法

このプリンタは、用紙の厚さに応じて印字ヘッドとプラテンとの間隔の調整を必要とします。用紙の種類および枚数に応じて、用紙厚設定レバーのレンジ位置を変えてください。

次の表から使用する用紙の「最も厚い部分」の「レンジ値」を選びます。

用紙種類			レンジ値				注				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
単紙	連量 45～70kg(52～80g/m^2)		○								
	連量 70～110kg(81～127g/m^2)			○							
	連量 110～135kg(128～156g/m^2)			○							
	はがき				○						
	封筒					○					
複写紙	連量 45～70kg(52～80g/m^2)		○								
	連量 70～110kg(81～127g/m^2)			○							
	連量 34kg(40g/m^2)の裏カーボン紙または感圧紙	2 枚		○							
		3 枚		○							
		4 枚			○						
		5 枚			○						
		6 枚				○					

レンジ値

					注				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
用紙全体の厚さ(mm)	0.06～0.12	0.13～0.21	0.22～0.30	0.31～0.39	0.40～0.48	0.49～0.57	0.58～0.66	0.67～0.75	0.76～0.84

- レンジ値 5～9 の印字は保証されません。
- 用紙の厚さと異なったレンジ値で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じるおそれがあります。
- 通帳の印字はしないでください。ヘッドピン折れ / リボン引掛け等の不具合を生じる原因となります。
- レンジ 4(用紙厚 0.36mm)以下の設定で印字を行ってください。
- レンジ 5～9 も設定できますが、複写紙の印字品位が低下し、文字が判読できない場合があります。

一般的なコピー紙（70g/m^2）の用紙厚さは約 0.08mm です。

プリンタドライバの設定

Windows Vista の場合

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

① 給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てた場合、思い通りの給紙方法で給紙できない場合があります。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

② 給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- トラクタフィーダ
- プリンタ設定
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「 」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は5 章の「単票をセットします」または「連続紙をセットします」を参照してください。

注 実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

③ 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

④ 印刷品位

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。
- 高複写（片方向印字）：片方向で高複写モードで印刷します。
- 高複写（両方向印字）：両方向で高複写モードで印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANK フォントは全て高速度 ANK で印刷されます。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『スタート』-『プリンタと FAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

5 プリンタドライバの設定

Windows Server 2003/XP/2000 の場合

印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

① 給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てた場合、思い通りの給紙方法で給紙できない場合があります。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

② 給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- トラクタフィーダ
- プリンタ設定
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「 」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は 5 章の「単票をセットします」または「連続紙をセットします」を参照してください。

注

実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

③ 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

④ 印刷品位

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。
- 高複写（片方向印字）：片方向で高複写モードで印刷します。
- 高複写（両方向印字）：両方向で高複写モードで印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANK フォントは全て高速度 ANK で印刷されます。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『スタート』-『プリンタと FAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

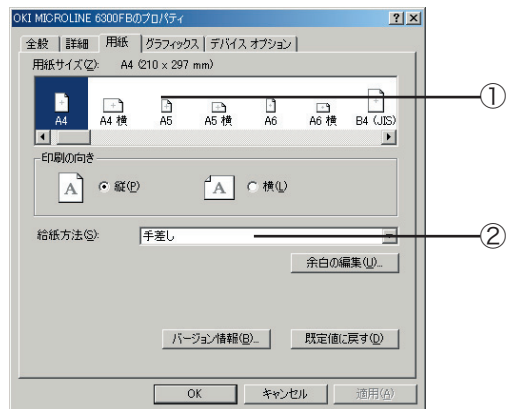
●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸ 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

WindowsMe/98/95 の場合

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

① 用紙サイズ

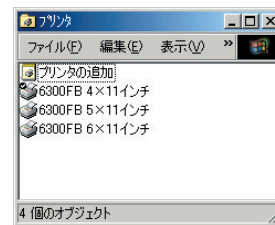
用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは 1/6 インチ単位で設定してください。

注 OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

② 給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- トラクタ
- プリンタ設定

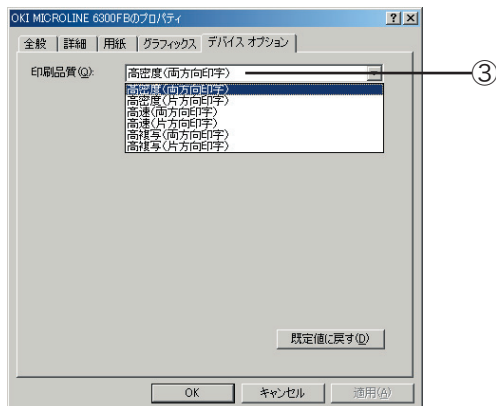
●「手差し」を指定するときは、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。

●「トラクタ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「 」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は 5 章の「単票をセットします」または「連続紙をセットします」を参照してください。

注 実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

デバイスオプションタブでの設定

③ 印刷品質

印刷の品位を選択します。

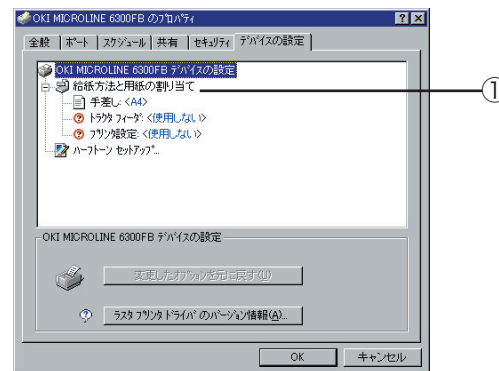
- 高速（片方向印字） ：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字） ：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。
- 高複写（片方向印字）：片方向で高複写モードで印刷します。
- 高複写（両方向印字）：両方向で高複写モードで印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANK フォントは全て高速度 ANK で印刷されます。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字(通常印字)に比べ、文字が薄く見えます。

WindowsNT4.0 の場合

印刷条件の設定

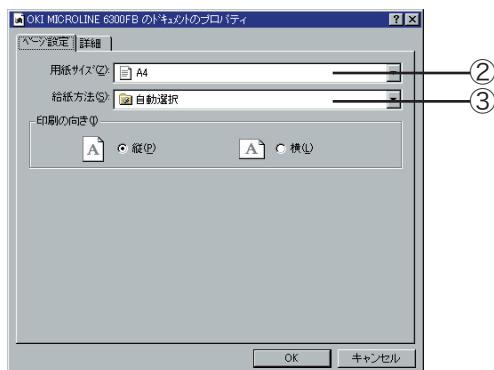
デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

① 給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てた場合、思い通りの給紙方法で給紙できない場合があります。

ページ設定タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

② 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

③ 給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- トラクタフィーダ
- プリンタ設定
- 自動選択（使用できません）

●「手差し」を指定するときは、用紙切り替えレバーを単票「 」にしてください。

●「トラクタフィーダ」を指定するときは、プリンタの用紙切り替えレバーを連続紙「 」にしてください。

●プリンタの給紙方法の設定は 5 章の「単票をセットします」または「連続紙をセットします」を参照してください。

実際の給紙方法は、プリンタの用紙切り替えレバーの設定が優先されます。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細タブでの設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

④ 印刷品位

印刷の品位を選択します。

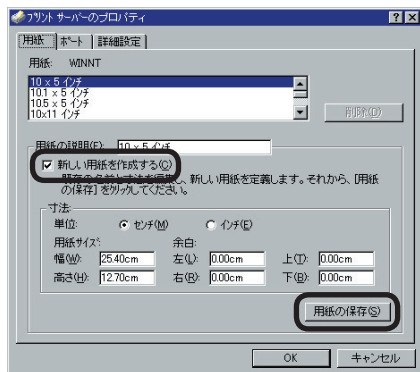
- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。
- 高複写（片方向印字）：片方向で高複写モードで印刷します。
- 高複写（両方向印字）：両方向で高複写モードで印刷します。

●高速（片方向印字）、高速（両方向印字）を選んだ場合、ANK フォントは全て高速度 ANK で印刷されます。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

❶『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

❷『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
『用紙規格および印字範囲』の範囲外で用紙サイズを作成してもプリンタドライバで選択することはできません。

● 高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

❸ 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

プリンタフォントについて

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕、〔Courier〕、〔OCR-B〕、〔Roman〕、〔SansSerif〕、〔Draft〕の 9 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定するとプリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

印刷します

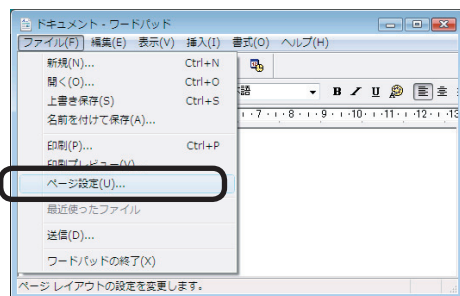
印刷手順

1. 用紙をセットします。
2. アプリケーションを起動します。
3. プリンタドライバで「用紙サイズ」、「給紙方法」を選択し、印刷します。

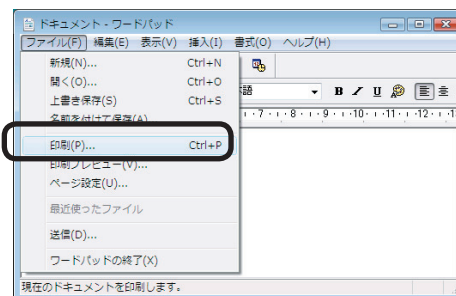
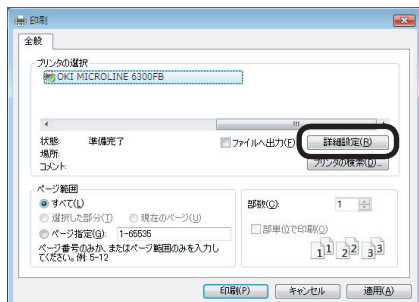
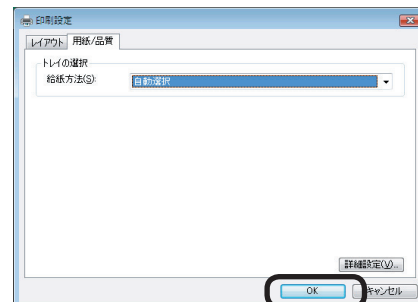
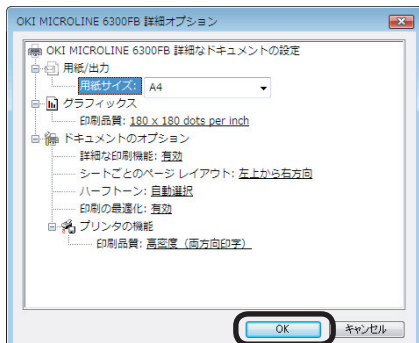
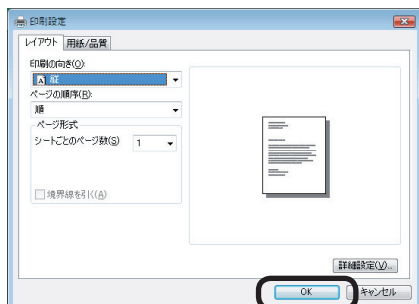
ここでは、Windows Vista に添付のワードパッドを例に、基本的な印刷手順について説明します。印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

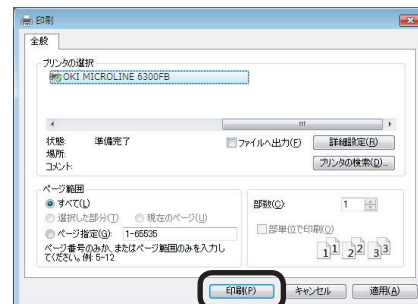
❶ ワードパッドを起動します。

- Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］（または［すべてのプログラム］）にカーソルを合わせ、さらに［アクセサリ］にカーソルを合わせ、［ワードパッド］をクリックするとワードパッドが起動します。
- すでに存在するファイルを印刷する場合は、そのファイルをダブルクリックして、アプリケーションソフトを起動し、❺に進みます。

❷［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。
このダイアログで印刷する用紙のサイズや余白などについて設定します。

❸ 印刷する用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、［OK］ボタンをクリックします。

❹ 印刷するデータを作成します。

❺［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

❻ お使いの機種が選択されていることを確認し、［詳細設定］ボタンをクリックします。

❼ 各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。
（「プリンタドライバの設定」（127 ページ））

注 ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

❽［OK］ボタンをクリックします。

印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

DOS 環境で使用します

市販のアプリケーションソフトウェアのほとんどのものに、使用するプリンタを選択する項目があります。
印刷する前に、以下の優先順位に従って選択します。

優先順位	プリンタ名
1	MICROLINE 6300FB
2	ESC/P 24-J84
3	VP-1000/3000
4	ESC/P 24-J83
5	VP135K/130K

- プリンタの選択方法は、それぞれのアプリケーションソフトウェアにより異なります。具体的な選択方法は、アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、正常に印字が行えない場合や、印字結果が異なる場合があります。
- アプリケーションソフトウェアによっては、本プリンタの機能の一部がサポートされていない場合があります。

6 プリンタの設定項目について

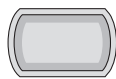
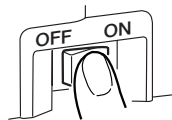
プリンタのメニュー設定

現在の設定を確認します

ここでは、不揮発性メモリ内に格納されているメニュー情報の確認方法について説明します。
メニューの内容の印字には、A4 サイズ以上の単票の縦置き、または 10 インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定内容の確認方法を説明します。
「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータ上から設定を確認することもできます。詳しくは、「1章　Windows ソフトウェア」（応用編）をご参照ください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 「改頁」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。

印字ヘッドが動き始めたらスイッチから指を離します。

3 単票をテーブルにセットします。

単票が自動的に吸入され、「メニュープリント」と印字されます。

4 「印字可」スイッチを押します。

現在設定されているメニューのすべての項目と設定値が印字されます。

5 印字ヘッドが止まったら、「TOF セット」スイッチを押します。

「メニュープリント終了」と印字され、単票が排出されます。

機能メニュー項目一覧

本プリンタで変更できる項目には、次のようなものがあります。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
1	受信バッファ選択	受信バッファ(64K)を使用するか、しないかを選択します。	使用する 使用しない
2	コード表	ANK 文字コード表を選択します。	拡張グラフィックス カタカナ
3	ページ長設定モード	ページ長を設定するモードを選択します。	選択モード 行数モード
4	ページ長選択	ページ長を選択します。 項番3の「ページ長設定モード」で「選択モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	279.4mm(11 インチ) 304.8mm(12 インチ) 55.9mm(2 1/5 インチ) 69.9mm(2 3/4 インチ) 82.6mm(3 1/4 インチ) 101.6mm(4 インチ) 209.6mm(8 1/4インチ)
5	ページ長行数	ページ長を行数単位で選択します。 行数は 4.23mm(6LPI) 単位です。 1 ～ 400 行まで設定可能です。 「メニュー設定ユーティリティ」では 1 ～ 255 行までの設定が可能です。 項番 3「ページ長設定モード」で「行数モード」を選択した場合に本設定が有効となります。	1(4.2mm) 2(8.5mm) ≀ 66(279.4mm) ≀ 399(1689.1mm) 400(1693.3mm)
6	ミシン目スキップ設定	ミシン目スキップ長を選択します。	なし 25.4mm(1 インチ)
7	文字品位設定	ANK 文字品位の設定を選択します。	LQ（高品位） ドラフト
8	オート CR	CR コード受信時の動作を選択します。	CR CR+LF
9	手挿入給紙待ち時間	単票手差し時の用紙給紙待ち状態で、用紙をテーブルにセットしてから給紙動作を行うまでの給紙待ち時間を選択します。	0.5 秒 1.0 秒 2.0 秒
10	単票モード時の FF コード	単票モード時での FF コードの機能を選択します。	改頁 排出
11	単票ボトム検出時の排出条件	単票モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。	自動排出 FF コード
12	単票頭出し位置	単票給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで。ただし、8.47mm は第 1 行目文字の先端まで。） ユーザ指定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。	2.12mm (1/12インチ) 3.18mm (1/8インチ) 4.23mm (2/12インチ) 6.35mm (3/12インチ) 7.62mm (3/10インチ) 8.47mm (4/12インチ) 10.58mm (5/12インチ) 12.7mm (6/12インチ) 14.82mm (7/12インチ) 16.93mm (8/12インチ) 19.05mm (9/12インチ) 21.17mm (10/12インチ) 23.28mm (11/12インチ) 25.4mm (12/12インチ) 27.52mm (13/12インチ) ユーザ指定位置
13	単票頭出し位置補正	単票時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。 1/60 インチ単位で＋の場合は用紙の末端方向へ、－の場合は先端方向へ移動します。	工場出荷時の設定は 0 1/60 インチ単位で± 7 まで補正が可能です。
14	帳票頭出し位置	帳票給紙時の頭出し基準位置を選択します。（第 1 文字目文字中心まで。ただし、8.47mm は第 1 行目文字の先端まで。） ユーザ指定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。	2.12mm (1/12インチ) 3.18mm (1/8インチ) 4.23mm (2/12インチ) 6.35mm (3/12インチ) 7.62mm (3/10インチ) 8.47mm (4/12インチ) 10.58mm (5/12インチ) 12.7mm (6/12インチ) 14.82mm (7/12インチ) 16.93mm (8/12インチ) 19.05mm (9/12インチ) 21.17mm (10/12インチ) 23.28mm (11/12インチ) 25.4mm (12/12インチ) 27.52mm (13/12インチ) ユーザ指定位置

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
15	帳票頭出し位置補正	帳票時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。 1/60 インチ単位で＋の場合は用紙の末端方向へ、－の場合は先端方向へ移動します。	工場出荷時の設定は 0 1/60 インチ単位で± 7 まで補正が可能です。
16	印字幅	1 行の最大印字桁を選択します。	80 桁 106 桁
17	ゼロフォント字体	30H ANK コード受信時の印字フォントパターンを選択します。	0（スラッシュ無し） Ø（スラッシュ有り）
18	単票 PE 出力	単票モード時､用紙終了(未給紙状態)を検出したとき､ペーパエンド出力を行うか､行わないかを選択します。	PE 出力あり PE 出力なし
19	単票自動排出位置	単票使用時の排出検出位置を選択します。 （用紙の下端からの距離）	3.18mm 6.35mm 14.8mm
20	帳票 PE 位置	帳票リア PUSH トラクタのペーパエンド位置を選択します。 （用紙下端から文字中心までの距離）	3.18mm 6.35mm
21	縦 2 倍拡張時の印字方向	行内に縦 2 倍拡張印字データが存在するときの印字方向を選択します。	両方向 片方向
22	電源投入時の漢字モード設定	電源投入時の漢字モードの設定／解除を選択します。 （本項目は電源投入時のみ適用され、I-PRIME 受信時は適用されません。）	設定 解除
23	電源投入時の用紙位置	電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。 （帳票モード時のみ有効）	印字位置 カット位置
24	帳票カット位置	帳票カット位置を選択します。 カット位置 1：ステージ先端 カット位置 2：ミドルカバー 「帳票カット位置」が「カット位置 1」の場合、「カット位置 2」に対し 4 インチプラスしてアップします。	カット位置 1 カット位置 2
25	帳票カット位置補正	帳票の用紙カット動作時のカット位置に対する補正値を選択します。 （単位は 1/90 インチ単位）	工場出荷時の設定は 0 1/90 インチ単位で± 7 まで補正が可能です。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
26	帳票カット機能	帳票のミシン目カット位置への送り出し方法の手動 / 自動の場合の送り出し時間を選択します。 手動：用紙カットスイッチ押下時にカット UP 動作を行います。 自動：設定された一定時間後に自動的にカット UP 動作を行います。	手動 自動（0.5 秒） 自動（1.0 秒） 自動（2.0 秒）
27	ANK 書体	ANK 書体を選択します。 ANK 書体選択コマンドによって書体が指定された場合はそれに従います。	ローマン クーリエ サンセリフ OCR-B
28	片方向印字コマンド	片方向印字設定コマンドの有効 / 無効を選択します。	有効 無効
29	単票改行量補正	単票給紙後の LF ピッチを補正します。	工場出荷時の設定は 0 ± 14 まで補正が可能です。
30	帳票改行量補正	帳票に対する改行量を補正します。	工場出荷時の設定は 0 ± 2 まで補正が可能です。
31	パワーセーブモード	パワーセーブモードを有効にするか、無効にするかを選択します。	有効 無効
32	パワーセーブ時間	パワーセーブモード有効時、パワーセーブへ移行するまでのアイドル時間を選択します。	5 分 10 分 15 分 30 分 60 分
33	電源投入時の印字モード状態	電源投入時の印字モードの設定状態を選択します。 （初期化コマンド等、I-PRIME・電源投入以外のイニシャル時には本項目を参照しません。）	通常 高速 高複写
34	印字モード設定	印字モードの変更をコマンド優先にするかスイッチ優先にするかを選択します。 設定値がスイッチ優先の場合： 漢字高速指定コマンド：FS x Pn 印字モード設定コマンド：ESC I 15H のコマンドをコマンドシーケンス単位で受け捨てます。	コマンド優先 スイッチ優先

6

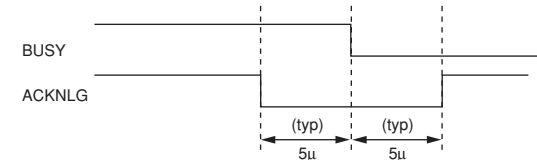
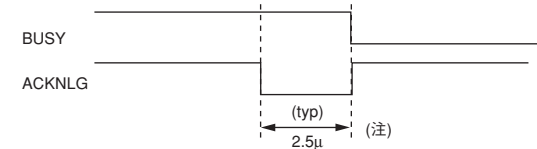
プリンタのメニュー設定

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
35	双方向 I/F	IEEE1284 双方向インタフェースの有効 / 無効を選択します。	有効 無効
36	I/F 信号タイミング	パラレルインタフェースの ACK と BUSY のタイミングを設定します。	A-B A-B-A
37	AUTO FEED XT 信号機能	AUTO FEED XT 信号の有効 / 無効を選択します。	有効 無効
38	DC1/DC3	DC1 と DC3 コードの有効 / 無効を選択します。	有効 無効
39	I-PRIME 信号	I-PRIME 信号の有効無効を選択します。	有効 無効
40	連続 I-PRIME	I-PRIME 信号をデータ受信やスイッチ操作がない状態で連続的に受信した場合の処理を選択します。 有効：I-PRIME 受信時は、必ずメカ動作を伴う初期化を行います。 無効：I-PRIME 受信時は、メカ動作を省略した初期化を行います。ただし、パワーセーブ中を除きます。	有効 無効
41	水平印字位置補正（高速 3）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は 0 1/720 インチ単位で ± 10 まで補正が可能です。
42	水平印字位置補正（高速 2）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は 0 1/720 インチ単位で ± 10 まで補正が可能です。
43	水平印字位置補正（高速 1）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は 0 1/720 インチ単位で ± 10 まで補正が可能です。
44	水平印字位置補正（通常）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 スイッチにより 1/720 インチ単位で左右に移動します。	工場出荷時の設定は 0 1/720 インチ単位で ± 10 まで補正が可能です。

- 頭出し位置は用紙の種類によって± 2mm 程度の誤差が生じることがあります。設定値（初期値 6.35mm(1/4 インチ)）に合わせる場合は､頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に 55kg 紙媒体にて適正値に調整してあります。
- 2.12mm(1/12 インチ)、3.18mm(1/8 インチ)、4.23mm(3/12 インチ) に設定はできますが、印字品質は保証されません。
  2.12mm(1/12 インチ) から用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。

I/Fタイミングの “A-B-A” と “A-B” の意味は、下図によります。

「A-B-A」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

「A-B」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

（注）BUSY OFFとACK OFFのタイミングの差はMIN 0secです。

「ページ長行数」項目選択中は、「ロード / 退避」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押すと、プラス方向へ 50 の倍数で更新され、「ロード / 退避」スイッチを押しながら「機能切替」スイッチを押すと、マイナス方向へ 50 の倍数で更新されます。
また「ロード / 退避」と「印字可」スイッチ､または「ロード / 退避」と「機能切替」スイッチをそのまま押し続けると、連続的に設定値が更新されます。

ページ長を 25.4mm 以下に設定した場合、「ミシン目スキップ設定」を「25.4mm（1 インチ)」に設定しても、ミシン目スキップは 0mm が設定されます。

シリアルインタフェースメニュー項目一覧

網かけ部は工場出荷時の設定

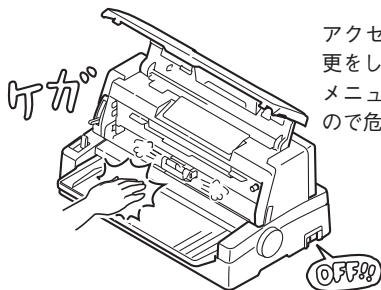
項番	項　目	機　能	設定値
1	パリティ設定 ✎	パリティを設定します。	パリティなし 奇数パリティ 偶数パリティ
2	データビット長設定 ✎	データビット長を設定します。	8 ビット 7 ビット
3	プロトコル設定	プロトコルを選択します。	READY ／ BUSY X-ON ／ X-OFF
4	自己診断テスト	RS-232C I/F 信号の入力・出力診断実行を選択します。	実行しない 実行する
5	BUSY ライン設定	BUSY ラインを設定します。	SSD– SSD+ DTR RTS
6	ボーレート設定	伝送速度を設定します。	9600 BPS 4800 BPS 2400 BPS 1200 BPS 600 BPS 300 BPS 19200 BPS
7	DSR 信号設定	DSR 信号を設定します。	有効 無効
8	DTR 信号設定	DTR 信号を設定します。	パワーオン固定 SELECT ／ DESEL 切り替え
9	BUSY 時間設定	最少 BUSY 時間を設定します。	0.2 秒 1.0 秒

✎ 「データビット長設定」が「7 ビット」のとき、「パリティ設定」を「パリティなし」に設定した場合、プリンタの印字動作は保証されません。

- ストップビット長は 1 ビット以上です。
- 本メニュー項目は、RS232C ボードが接続されているときのみ印刷されます。
- 本メニュー設定内容は、ホストコンピュータの設定に合わせてください。
  ホストコンピュータの設定方法は、ホストコンピュータのマニュアルを参照してください。
- 本メニューを開始するためには、「改頁」+「ロード / 退避」スイッチを押下しながら電源スイッチを「ON」します。
  設定を変更する場合は、「設定を変更します」を参照してください。
- 「メニュー設定ユーティリティ」で設定の変更はできません。

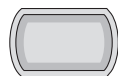
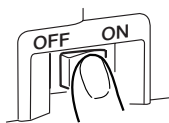
設定を変更します

メニューの設定内容を変更するには、A4 サイズ以上の単票の縦置き、または 10 インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、A4 サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。
「メニュー設定ユーティリティ」を使用して、コンピュータ上から設定を変更することもできます。詳しくは、「1 章　Windows ソフトウェア」(応用編) をご参照ください。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。

アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。
メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。

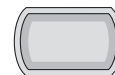
1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 「改頁」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」します。

印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。

3 単票をテーブルにセットします。

単票が自動的に吸入され、「メニュープリント」と印字されます。

4 「改頁」スイッチまたは「改行」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

メモ 「改頁」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「改行」スイッチを押すたびに、逆送りで印字されます。

5 変更したい項目が印字されたら、「印字可」スイッチまたは「機能切替」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

メモ 「印字可」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「機能切替」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。

6 さらに変更したい項目があれば、手順 4, 5 を繰り返します。

7 「TOF セット」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンタに記憶されます。

TOFセット（一時）
TOFセット（恒久）

- メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
- メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
- 「TOF セット」スイッチを押し、「メニュープリント終了」と印字する前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

設定を初期化します

全てのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

メニュー項目のうち、補正に関する項目は初期化されません。
シリアルインタフェースメニュー項目（144 ページ）の設定値も初期化されません。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

2 「印字可」＋「機能切替」スイッチを押しながら、電源スイッチを「ON」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。

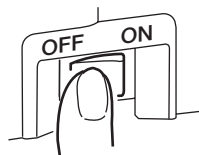
7 メンテナンスをします

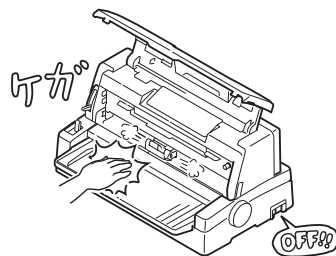
リボンカートリッジを交換します

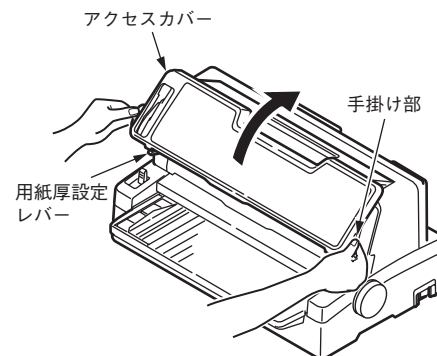
印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジを交換してください。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

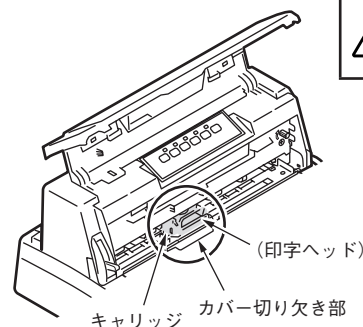
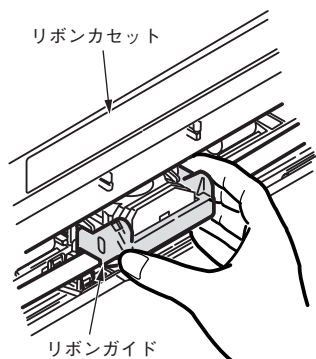
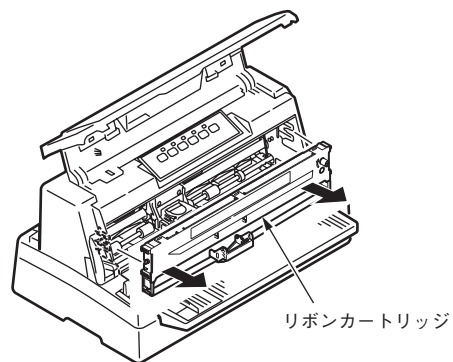
印字直後は印字ヘッドが高温になっています。
印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの交換は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 用紙厚設定レバーを「リボン交換」（10 レンジ）にした後、アクセスカバーの右の手掛け部を持ってトップカバーを開きます。

注 用紙厚設定レバーを「リボン交換」（10 レンジ）にすることにより、リボンが取り外しやすくなります。

3 キャリッジをリボン交換位置のカバー切り欠き部へ移動させます。

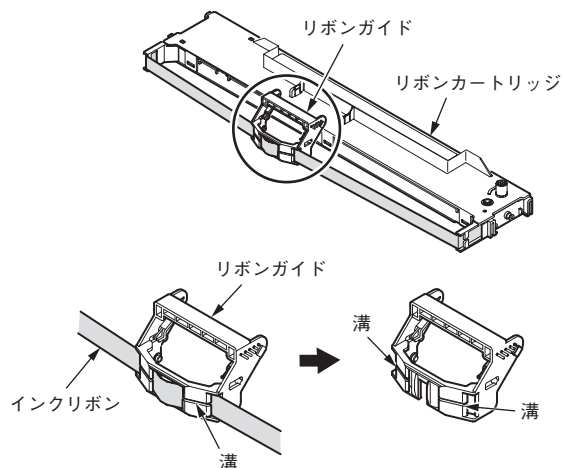
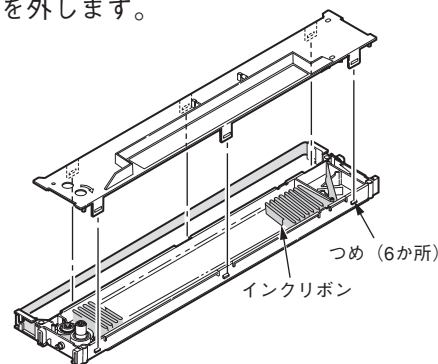
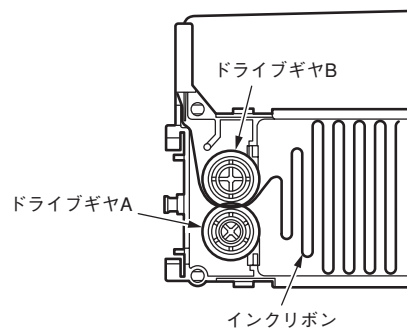
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドやその周辺にさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

4 リボンガイドを指ではさみ、手前上方に引き上げてキャリッジより外します。

5 リボンカートリッジの両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を矢印のように外します。

6 新しいリボンカートリッジを取り付けます。

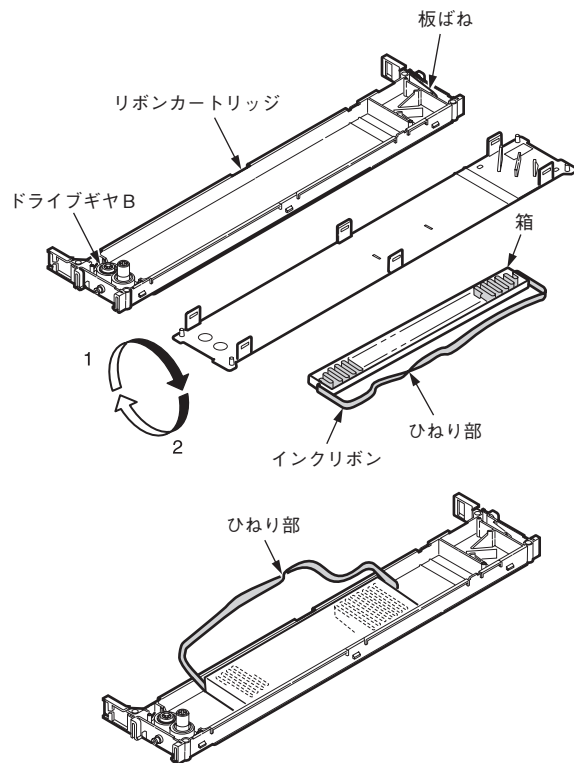
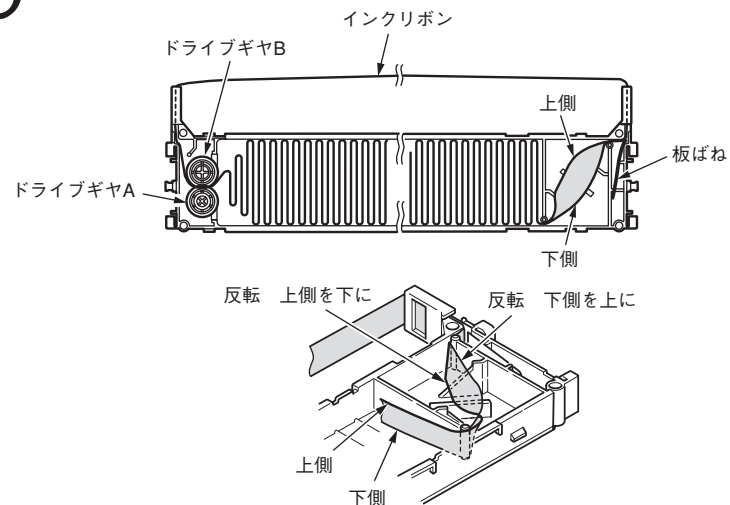
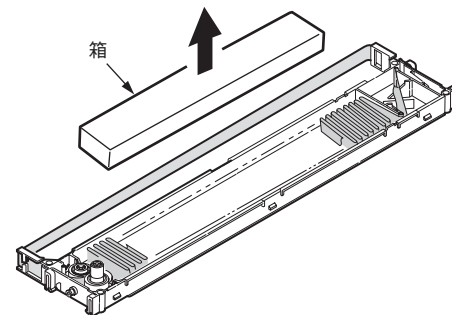
手順は「リボンカートリッジを取り付けます」（15 ページ）をご覧ください。

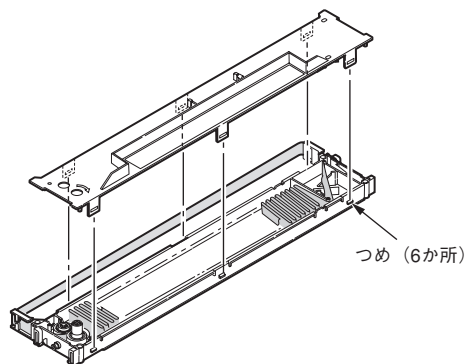
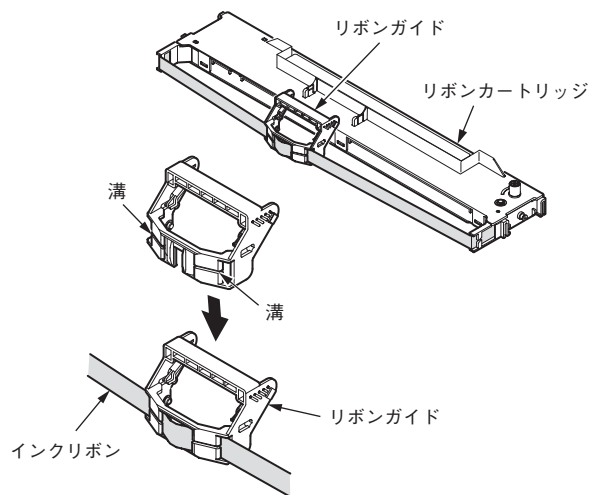
インクリボンを交換します

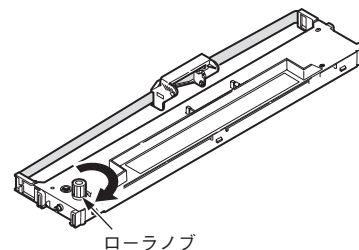
印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジ内のインクリボンを交換してください。

1 インクリボンから、リボンガイドの溝を通して、リボンガイドを外します。

2 リボンカートリッジのふたについているつめ（6 か所）を外し、ふたを外します。

3 ドライブギヤ A とドライブギヤ B の間から使用済のインクリボンを取り出し、リボンカートリッジの中および周囲 , ローラ周辺のリボンくず , 繊維くずを取り除きます。

- 使用済みのインクリボンはナイロン製です。不燃物として処理してください。
- 使用済みのインクリボンの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（162 ページ）をご覧ください。

4 新しいインクリボンの包装紙を取り除き、インクリボンを箱から 20 ～ 30cm 程度引き出します。

5 リボンカートリッジをインクリボンの箱にかぶせて、リボンカートリッジと箱をいっしょに裏返します。

6 インクリボンを図の経路にセットします。

7 リボンカートリッジからインクリボンが飛び出さないように、静かに箱を取り除きます。

8 ドライブギア A とドライブギヤ B 間にインクリボンを通します。

9 リボンカートリッジ内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないか、また、ローラアームがフレームから浮き上がっていないか確認してからふたを閉じます。

10 リボンガイドの溝にインクリボンを通します。

11 ローラノブを時計回り（矢印方向）に回してインクリボンのたるみを取ります。

- ローラノブを回したとき、インクリボンが動かなかったり、異常に鈍いときは、再度ふたを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- ローラノブを矢印の逆方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- インクリボンの交換は 1 つのリボンカートリッジに対して 3 回までです。インクリボンを 3 回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。交換の手順は「リボンカートリッジを取り付けます」(15 ページ) を参照してください。

- 使用済みのリボンカートリッジはナイロン製です。不燃物として処理してください。
- 使用済みのリボンカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（162 ページ）をご覧ください。

プリンタのお手入れをします

◎プリンタカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。
◎堅い布やアルコール , シンナー , ベンジンなどでふかないでください。
◎プリンタ内部にごみやほこり、紙粉が目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。

注 ごみやほこり、紙粉がたまると、センサの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的な清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

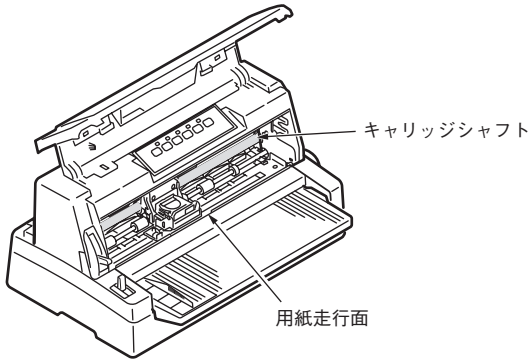
プリンタ内部を清掃します

清掃

- 清掃は電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。
- ケースやプリンタカバーは、中性洗剤をうすめた液にひたして堅くしぼった布で、汚れをふき取ってください。とくに、機械部品や電子部品を絶対ぬらさないように注意してください。
- 堅い布やアルコール、シンナー、ベンジンなど、揮発性のものを用いてふくと、傷が付いたり、表面が変色したり、変形したりする恐れがありますので注意してください。
- プリンタ内部にごみやほこりが目立つ場合は、掃除機などを使って取り除いてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期でプリンタの清掃を行ってください。
（その他のプリンタ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が 6 か月または 300 時間の中でいずれか早いほう
所用時間 ： 約 10 分
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

清掃箇所	清掃内容
キャリッジシャフトおよび周辺	用紙くずを取り去り、汚れ，ほこり，リボンくずなどをふき取る。
用紙走行面	

注油

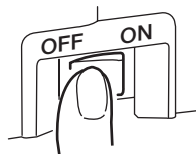
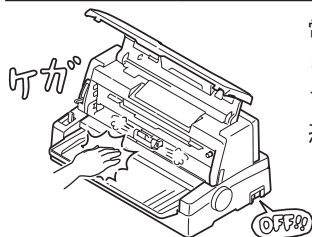
本プリンタはメンテナンスフリーの機械であり、運用途中での注油は不要です。
お客様での注油は絶対に行わないでください。
（プリンタの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。）

8 困ったときには

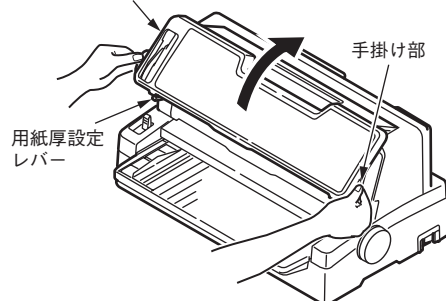
紙づまりしたとき

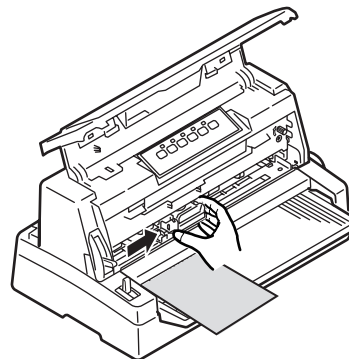
単票の場合

単票がプリンタ内部でつまったとき

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 アクセスカバーを開きます。

3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。

4 印字ヘッドを用紙のないところへ移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドなどにはさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 プラテンノブを回して単票を送り、排出させます。

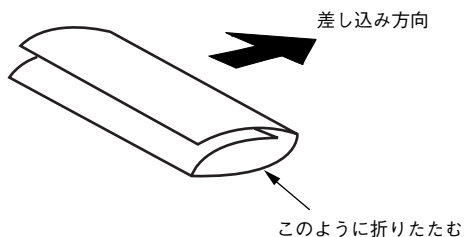
破れた単票がプリンタ内部に残ったとき

1 電源スイッチを「OFF」にします。

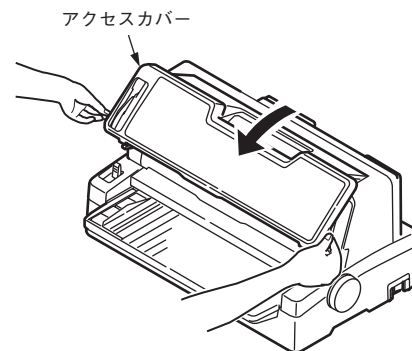
2 アクセスカバーを開きます。

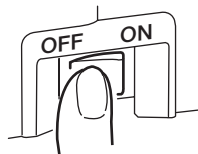
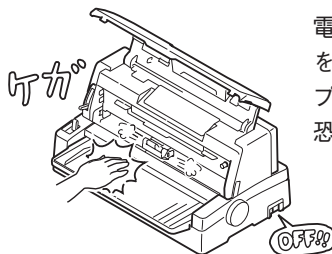
3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。

4 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

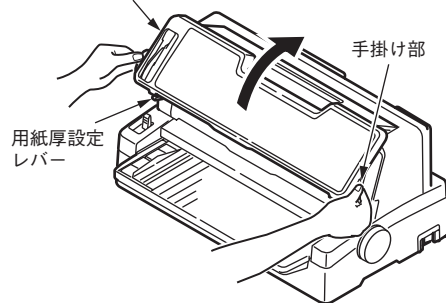
5 3 つに折りたたんだ単票をシートガイドから差し込みます。

6 プラテンノブを回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

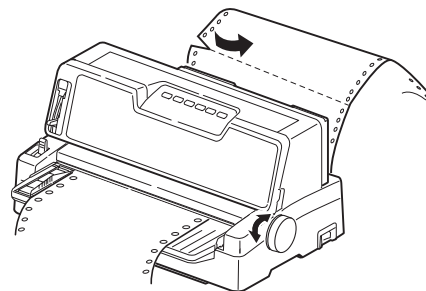
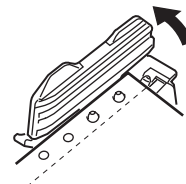
7 用紙厚設定レバーを用紙厚にあったレンジ位置に戻します。

8 アクセスカバーを閉じます。

連続紙の場合

1 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 アクセスカバーを開きます。

3 用紙厚設定レバーの位置を「リボン交換」（10 レンジ）にします。

4 印刷前の連続紙を切り取ります。

5 リアカバーを取り外し、ピントラクタから連続紙を外します。

6 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を２～３枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

7 アクセスカバーを閉じます。

付　録

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど､プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　0120-654-632
（携帯電話からは 03-5833-5710）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは (株) 沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：________製造番号：________購入日：____年____月

追加オプション：　なし　あり（　　　　）

コンピュータ環境

☐ Windows　バージョン：________

☐ MacOS　バージョン：________

接続方法

☐ パラレル　☐ USB　☐ RS232C　☐ ネットワーク

☐ TCP/IP　☐ IPX/SPX　☐ Ethertalk　☐ NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：________　バージョン：________

アプリケーション

アプリケーションソフト名：________　バージョン：________

使用フォント名：________

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：________

プリンタの操作パネルに表示される内容　：________

その他

他のアプリケーションからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データ製プリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ１本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品名		数量
イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

プリンタ仕様

印字方式	ドットマトリクスインパクト
ドットワイヤ径	0.2mm
ドットワイヤ数	24 ピン
印字方向	両方向印字
改行時間	4.23mm（1/6 インチ）改行のとき … 1 改行 約 65ms
改ページ速度	約 114.3mm ／秒（4.5 インチ／秒）
紙送り制御	フォームフィード 機能有り 垂直タブ 機能有り ダイレクトスキップ 機能有り
複写能力	リアパス方式 : オリジナル＋ 5 枚（用紙厚合計 0.36mm 以下）
紙送り方向	リアパス方式
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式
媒体仕様	「用紙規格および印字範囲」（100 ページ）を参照してください。
インクリボン（沖データ純正品）	カートリッジ : 専用カートリッジ インク : 黒単色 寿 命 : 10CPI 高速度 ANK 400 万字
外形寸法	425mm(W) × 302mm(D) × 210mm(H)
重 量	約 7kg
入力電源	単相交流 100V ± 10%（50/60Hz ± 1Hz）
消費電力	動作中 : 最大 約 220W（漢字ローカルテスト印字時 約 70W） 待機時 : 約 3W 以下（低消費電力モード時）
電源コード	3 極 AC コード（2 極交換プラグ付） 長さ 約 2.4m
周囲温度・湿度	動作時 : 5℃～ 40℃ , 30% ～ 85%RH ただし、印字精度は測定条件が 15℃～ 30℃ , 40% ～ 70%RH 保存時 : − 20℃～ 60℃ , 5% ～ 95%RH ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。
塵埃・腐食性	一般事務室程度の環境で使用してください。

インタフェース	IEEE-std1284-1994 準拠双方向パラレルインタフェース（コンパチブルモード , ニブルモード） USB RS232C シリアルインタフェース（RS232C ボード : オプション）
標準使用条件	平均電源オン時間 200H ／月 平均印字時間 50H ／月 （ページ文字密度 35%）
印字ヘッド寿命	平均 3 億ストローク（ドットあたり）
装置寿命	5 年
騒 音	58 dBA [ISO7779 印字パターン]（高品位 ANK）

プリンタソフトウェア CD-ROM の内容

プリンタソフトウェア CD-ROM には、次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。
Acrobat Reader は、プリンタソフトウェア CD-ROM に収納されています。

- ML6300FBsetup.pdf： ML6300FB ユーザーズマニュアル（セットアップ編）です。（本書）
- ML6300FBapp.pdf： ML6300FB ユーザーズマニュアル（応用編）です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

ML6300FB ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1　Windows ソフトウェア

2　便利な印刷機能

3　困ったときには

付　録

索　引

索引

ら

り

れ

シリアルプリンタ

MICROLINE 6300FB

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2007年１月　第２版

発行者　株式会社 沖データ

43045004EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）